

金融を中心とするマクロ経済の概況

櫻井 宏二郎

日本開発銀行

1. ドイモイ以前

1.1. 社会主義工業化のスタート

1976年の南北統一により誕生したヴィエトナム社会主義共和国は、同年12月の第4回党大会において、その後の約20年間をヴィエトナム社会主義への過渡期と位置付け、その間社会主義工業化を推進していくことを決定した。策定された第2次5ヵ年計画(1976-80年)では、重工業が優先産業とされた。この計画策定の背景には、社会主義工業化は高度成長により、比較的短期間に達成できるという見通しがあったものとみられる。

この計画を遂行する経済システムは、既に北部で実施されていた中央集権的計画経済システムであった。すなわち、国家が計画に基づいて生産主体に資材を「固定価格」で供給し、各生産主体は計画に従って生産した生産物を国家に上納するというシステムである。そして給与生活者の賃金は低く抑えられ、代わりに食料などの生活必需物資は廉価で配給された。

このように計画された社会主義工業化は、比較的短期間に効果を発揮することが期待されたが、期待に反し、計画経済に強制的に組み込まれたことに対する南部農民の反発や、生活物資低価格維持政策による農民の生産インセンティブの低下などから、農業生産は停滞し、70年代末にはカンボジア侵攻に起因するヴィエトナムへの援助停止も重なり、ヴィエトナム経済は苦境に陥った。

1.2. 新経済政策の試みと失敗

事態を重く見た政府は、1979年、一時的に社会主義路線を修正し、自由化を部分的に盛り込んだ新経済政策を採択した。すなわち、食糧など生活必需品の生産回復を図るため、固定価格である農産物価格を引き上げると同時に、契約外の生産については市場価格に連動して設定される「協議価格」で買い上げ、生産インセンティブの向上を図ろうとした。これらの政策の結果、農民の生産意欲は向上し、農業を中心に生産は拡大した。しかし、この自由化政策は、生産面だけに関わる部分的なものであり、物資の配給制度や価格差補給金制度(物資の買い上げ価格と配給価格の差額を財政が負担するという制度)は従来そのまま維持された。この結果、価格差補給金の負担増から、財政赤字は急増し、さらにこれによる貨幣増発により、インフレが高進した。結局、この新経済政策により、財政から農業を中心とする生産者に所得再分配が行われ、その財政の負担をインフレという形で国民が負ったことになる。

インフレ高進の背景には次のような金融の構造があった。計画経済における金融部門の役割は、金融仲介ではなく、物動計画を可能にするために資金的な手当てを行うことである。計画経済における物動あるいは資源配分は基本的に財政により行われるため、金融は財政に従属することになる。従って、当時のヴィエトナムの中央銀行は、財政赤字を貨幣化する手段としてしか機能し

なかったといえる。

こうしたマクロ経済の混乱を背景に、次第に政府内では、自由化路線を排し社会主義統制経済への復帰を主張する保守派が勢力を強め、1982年の第5回党大会以降は、再び経済統制色が強まり、経済活動も停滞した。

1.3.1985年の「価格・賃金・通貨」改革と混乱

その後、経済が停滞する中で、政府内では、再び改革派が返り咲き、1985年9月には、次の3点を骨子とする「価格・賃金・通貨」の改革が断行された。①生活必需品を廉価で配給するという配給制度の廃止と、これによる実質賃金の目減りを補填するための賃金調整、②農産物買い上げに関わる固定価格および価格差補給金制度（あるいは二重価格制度）の廃止と、価格の市場連動化および単一化、③デノミネーションおよび旧通貨の廃止。しかし、この改革は、金融・財政や国営企業に関する従来の枠組みが残存し、また国営企業が市場経済の経験を持っていないという環境下では、単に価格を引き上げただけの結果に終わった。ボトルネックや通貨増発によるインフレに加えて、便乗値上げが横行し、また突然の新旧貨幣切り換えが国民を不安に落とし入れたことも手伝って、経済は大混乱に陥った。86年のインフレ率は700%にも達したといわれている。

1.4.ドイモイ政策の誕生

こうした状況の中、政府は、86年12月の第6回党大会において、改革失敗の反省を踏まえて、全面的な経済改革への政策転換を旨とする「ドイモイ」政策を打ち出すに至った。第6回党大会によるドイモイ政策の内容は、次の4点に整理される。①社会主義に至る過程は、比較的長期の歴史的過程であり、社会主義は短期間には達成できない。従って、当面の経済運営に際し、資本主義的要素を取り入れることは合理的である。②ヴィエトナムの現状に合わせ、これまでの重工業優先政策を見直し、食糧、生活消費財、輸出財の生産を重視する。③資本主義的経営の存在を認める。④国際分業、国際経済強力に積極的に参加する。

そして同時に、財政赤字、過剰な貨幣供給、物価高騰、生活難、の4つの減少が目標として掲げられた。

このように79年以来の部分的な自由化路線は、紆余曲折を経て、86年に「ドイモイ」という形で結実した。そして、この「ドイモイ」政策により、ヴィエトナム経済の基本的な運営方針は、それまでの中央集権的な計画経済から、市場メカニズムに依拠した分権的な自由主義経済に移行することになった。

2.ドイモイ以降

2.1.インフレの鎮静化

ドイモイ政策スタート後の最大のマクロ経済の課題は、インフレの鎮静化であった。86年から88年にかけて、インフレ率は3ケタの大台で推移した（Table 11 参照）¹。マネーサプライ（M2）も86年から89年にかけて200~400%台で増加したことから、このハイパー・インフレの基本的要因はマネーサプライの増大であったと考えられる。マネーサプライの増大は、主に中央銀行の財政赤字ファイナンスと国営企業に対する貸付によるものであった（Table 15 参照）。政府は、財政赤字の削減に努めるとともに、政府や国営企業に対する貸付を厳しく管理することに

¹ ベトナムの消費者物価は、前年の12月を基準に発表されることが多いので注意を要する。Table では、時系列的に連続した指数を計算してある。

より、マネーサプライの伸びを抑え、これが奏効し、インフレ率は90年以降2ケタ台に低下した。財政赤字ファイナンスに占める中央銀行のウェイトは92年以降急減し、また国内総信用額の伸びに対する政府信用の寄与は90年以降著しく低下している。ヴェトナム金融当局は、80年代末から90年代始めにかけて、ハイパー・インフレの鎮静化に見事に成功したといえる。

その後インフレ率は2ケタ台で推移したが、96年にはさらに1ケタ台半ばの水準に低下した。このインフレ率低下には、米価および第2次産業における物価上昇率の低下が寄与した（Table 4,12 参照）。この背景には、融資の伸びが融資態度の慎重化や規制強化などから全般的に鈍化したという要因の他に（Table 23 参照）、米作が好調だったこと、輸入がライセンス規制緩和や輸入枠の拡大から紙、セメント、鉄鋼などを中心に増加したこと、などの供給サイドの要因があったものとみられる。

96年以降の低インフレについては、過度な引き締めによるもので、インフレ低下を目指すあまり、実体経済活動をオーバーキルするものであるという見方があり得よう。確かに、95年の輸入枠の拡大は資材のボトルネック・インフレの回避を目的としたものであり、これが在庫増をもたらすとともに、輸入品と競合する国営企業等の収益を悪化させ、96年の資金需要減退の一因となった。しかし、96年央からの輸入ユーザンスの規制強化や担保規制強化などの一連の規制強化は、基本的には輸入抑制、金融機関の債権保全を目的としたものであり、インフレ低下を目的としたものではない。96年に9%台の実質経済成長を達成したという良好なマクロパフォーマンスからも、過度な引き締めという評価は必ずしも適当でないように思われる²。ただし、金融深化が進んでいないことに表れているように、資金を必要とする投資主体に十分に資金が供給されていない可能性があることについては、別途検討が必要である。

2.2.金融制度の改革

中央集権的計画経済の下では、金融は金融仲介機能を持たずに、財政による物動計画に資金を融通する機能しか持たない。1988年までヴェトナムの金融制度は、このような計画経済に典型的なモノバンク・システムであった。国家銀行(State Bank of Viet Nam)が、中央銀行の機能を果たすと同時に、短期資金を独占的に供給し、これを補完するために、外国為替・貿易に特化した外国貿易銀行(The Bank for Foreign Trade of Viet Nam; Vietcombank)と、公共投資と国営企業設備投資の導管に特化した投資開発銀行(The Bank for Investment and Development of Viet Nam; BIDV)が存在した。

1988年7月、国家銀行から商業銀行機能が分離され、モノバンク・システムは解体した。国家銀行は、中央銀行業務に特化する一方で、同銀行内の2部門を分離し、工商銀行(The Industrial and Commercial Bank of Viet Nam; Incombank)と、農業銀行(The Agricultural Bank of Viet Nam; Agribank)が設立された。これにより4大商業銀行体制が整い、2層銀行制度がスタートした。89年3月には、外貨管理機能が外国貿易銀行から国家銀行に移り、外国貿易銀行が外為業務を中心とする商業銀行化するとともに、他の商業銀行も認可を得れば外為業務を行えるようになった。さらに1990年10月施行の新銀行法では、国家銀行の金融政策や金融機関監督に関する権限が明確化された。このような一連の制度改革により、ヴェトナムの金融制度（銀行制度）は、モノバンク・システムから、分権的市場メカニズムが可能なシステムに移行した。

ここで、ヴェトナムの銀行制度が、モノバンク・システムからどれだけ金融仲介機能が発達してきたかを、ある指標で見よう³。この指標は、国内総信用額を中央銀行のみの国内信用額で割ったものであり、完全なモノバンク制では1の値をとり、金融仲介機能の拡大に伴って、大きな値をとる。Table 25を見ると、ヴェトナムの値は他の移行国と同様に、市場経済諸国に比べてはるかに小さく、金融仲介機能が未発達であることがわかる。しかし、2層銀行制度の定着に伴って少しずつ上昇してきており、95年には中国の値を上回っている。

² 96年の現地ヒアリングにおいて、World Bankも同様の見解であった。

³ 渡辺(1995)による。

2.3. 金利政策の改革

金融制度改革とともに行われた以下のような金利政策の改革も、金融経済構造の改善において重要な役割を果たした⁴。

第1に、インフレが鎮静化する中で、名目預金金利が大幅に引き上げられ実質預金金利が1989年から正の値となった⁵。これは、旧ソ連等の援助減少を補うべく、国内投資資金の調達を目的としたものである⁶。91年に再び実質預金金利はマイナスとなったが、以降は基調としては正の値に維持されている。このような実質預金金利の引き上げは、ドルへの通貨代替や金の保有動機の傾向が強いベトナム経済において、相対的なドル預金の収益率を高めることにより、預金の形態での貯蓄動員に貢献したものとみられる。また、実質預金金利が正の値となったことは、貨幣需要を高めることにより金融深化を進展させ、インフレを低下させる効果も併せ持ったものとみられる⁷。

第2に、預金金利と貸出金利の逆ざやが92年の後半頃から解消された⁸。計画経済とモノバンク制の下では、国営企業を支援するという観点から、貸出金利は低く設定されていた。金融制度改革後、商業銀行が正常な金融仲介機能を発揮するためには、預貸金利構造が順ざやになっていることが必要であった。「国内信用総額/中央銀行信用額」でみた金融仲介機能の発達度は、93年以降上昇傾向にあるが、この要因の一つとして預貸金利の順ざや化があるものとみられる (Table 13 参照)。

このように、上記の2つの金利政策の改革は、貯蓄動員、マクロ経済の安定化、金融仲介機能の正常化などにおいて、重要な役割を果たしたといえる。

現状では、金利に関しては、貸出金利上限規制、スプレッド規制が存在する。スプレッド規制については、実効性の問題があることに加えて、個別金融機関の特性を無視した一律の規制であり、また金融機関の機動的な事業活動を妨げているのではないかという議論があり、見直しが検討されている模様である⁹。

2.4. 順調な経済成長

実質GDPの伸びでみた経済成長率は、87年から91年まで3~8%台で順調に推移した後、成長が一段と加速し、92年から96年までは8~9%台の高成長を維持している (Table 1 参照)。

経済成長に対する産業セクター別の寄与をみると、第3次産業および第2次産業の寄与が大きい (Table 2 参照)。86年から96年までの10年間の産業構成比の変化を実質価格ベースでみると、第1次産業：45.2→32.5%、第2次産業：24.3→29.2%、第3次産業：30.5→38.3%、となっており、第3次産業および第2次産業がウエートを高めている (Table 3 参照)。

支出面では総固定資本形成の伸びが顕著であり、名目GDPに占める総固定資本形成の比率(投資比率)は、91年の15.0%から96年の27.1%に急上昇している (Table 6 参照)。このような投資活動を支えたのは、投資主体としては国家セクター、資金源としては国内資金調達であるが、海外直接投資も、投資主体および資金源の両面で重要な役割を果たした (Table 7 参照)。

名目GDPに占める国家セクターの構成比は、86年の37.6%から95年の42.2%へ、趨勢的に上昇しており、市場経済へ移行する中で、むしろ国家セクターのプレゼンスが拡大している。こ

⁴ 以下の記述は基本的に、渡辺(1995)および服部(1995)に負っている。

⁵ 一般的に実質金利の符号は、金利とインフレ率に何をを用いるかに依存する。Table では、「3カ月預金金利-消費者物価上昇率」を示してあるが、これによると89年始め頃から実質金利はプラス化している。

⁶ 渡辺(1995)による。

⁷ 服部(1995)、渡辺(1995)、および97年現地ヒアリング調査による。

⁸ 渡辺(1995)による。ただし、金利スプレッドは、預貸金利として何をを用いるかに依存する。Table では、短期貸出金利、中長期貸出金利、3カ月預金金利を用いて計算してあるが、89年以降の長期的な趨勢として、スプレッドが改善する傾向が見受けられる。

⁹ 96、97年の現地ヒアリング調査による。

れは、主に第2次産業における国営企業が急成長していることによるものである。

2.5. 為替政策

1989年3月までのヴィエトナムの為替レートは、複数レート制の下で、過大評価されていた¹⁰。この事情を背景に、ヴィエトナムでは価格体系が歪んでいたり、輸入者が輸出者の犠牲の下に膨大な利益を獲得するという問題が生じていた。これらの問題に対処するために、当局は公定為替レートを段階的に切り下げるとともに、89年3月には複数レートを単一レートに統一した。同時に、為替の保有に関する規制を緩和し、88年10月のdecreeを経て、企業や個人は外貨建ての銀行口座を開くことが認められた。

為替取引については、91年8月および11月に、ホーチミンとハノイにそれぞれ為替取引所を開設し、94年10月にはインターバンク市場を創設した。

ヴィエトナムでも、他のいくつかの途上国と同様に、貿易・為替の規制と密貿易の存在などにより、為替のパラレルマーケットが発達しており、また公定レートはパラレルレートより割高に設定されていた。

当局は、上記のような一連の為替市場整備を行うとともに、財政赤字の削減、金融の引き締めなどのマクロ経済安定化に努めた。こうした条件を背景に、92年頃以降、公定レートはパラレルレートにかなり近い水準に設定されるようになり、また名目の対ドルレートは非常に安定的に推移してきた。

ただし、96年秋以降から、貿易赤字の拡大を背景に、名目の対ドルレートは減価気味に推移している。これを受けて、中央銀行は97年2月に、インターバンクにおける為替取引レートの中央銀行リファレンス・レートからの乖離幅（バンド）を、それまでの1%から5%に拡大した。

2.6. 銀行部門の活動

銀行部門の貸出や預金は、96年にやや鈍化したとはいえ、92年頃以降は順調に伸びているように見える（Table15、16、24参照）。しかし、M2/GDPで示した「金融深化」の程度は、ドイモイのスタートした1986年から90年前後にかけては急速に上昇したものの、それ以降は停滞している（Table26参照）。M2/GDPの水準は、中国、ミャンマー、東欧諸国などの体制移行国と比較しても低い。M2/GDPの水準は、各国の金融制度や慣行に依存するため、単純な横並び比較はできないが、少なくとも上昇を示していないことは、他の多くの国の経験と異なっているといえる。この指標を見る限り、ヴィエトナム経済に対する銀行部門の浸透は進んでいないといえる。この背景には、政府や銀行に対する不信任、資産や所得を捕捉されることに対する不安などがあるものと思われる。

銀行部門の貸出残高合計に占める各銀行のシェアを見ると、4大商業銀行合計のシェアは、95%(1991年)→88%(1994年)→75%(1996年)と急速に低下しており、逆に合併銀行や株式銀行などを含む民間銀行部門のシェアは、5%(91年)→12%(94年)→26%(96年)と急速に上昇している。4大商業銀行の中では、農業銀行のシェアの低下(27%、91年→20%、96年)と、商工銀行のシェアの低下(30%、91年→20%、96年)が著しい。農業銀行のシェアの低下は、工業化という産業構造の変化を反映したものであろう。商工銀行のシェアの低下には、民間銀行との競合が影響しているものと推測される。投資開発銀行のシェアは、1991年の12%から1996年の20%へと上昇しているが、これは設備投資の増加を受けて長期貸出が大きく伸びたことを反映しているものとみられる（非政府部門融資残高合計に占める長期貸出のウエートは、91年の16%から96年の32%へと倍増している。そして投資開発銀行は他の銀行に比べて長期貸出比率が高い）。

一方、貸出先の内訳を融資残高ベースで見ると、1991年には、国営企業部門90%、民間部門26%、その他部門5%であったが、1996年には、国営企業部門54%、民間部門26%、その他部

¹⁰ 以下の記述は基本的に、Dodsworth et al(1996)に負っている。

門 22%となっており、国営企業部門への融資が後退し、代わって民間部門、その他部門への融資が増えているといえる。ただし、91年と96年では集計対象サンプルが異なっていることには留意を要する（マネタリー・サーベイの対象機関は、91～93年までは16銀行、93～96年までは28銀行であるが、Table18-24のサンプルがこれと同じかどうかは明らかでない）。

各銀行の貸出先の内訳を見ると、農業銀行は91年には国営企業向けが80%を占めたが、96年には民間部門向けが79%を占めている。これは農業向けが中心であると思われる。投資開発銀行および外国貿易銀行では、依然として国営企業向けが多い。商工銀行は、91年には国営企業向けが93%を占めたが、96年には国営企業向けが44%まで低下し、代わってその他部門向けが39%、民間部門向けが16%となっている。その他銀行部門では、国営企業から、民間部門、その他部門への貸出先のシフトが見られる。これらの結果、銀行部門全体として、貸出先が国営企業部門から、民間部門やその他部門へシフトしてきている。

しかし、民間部門への貸出が増えているとはいえ、融資の条件は民間向けの方が国営企業向けに比べて、制度上、慣行上、厳しく設定されており、今後は民間部門の育成という観点から、これらの条件の整備が課題になるものと思われる。

[参考文献]

1. 青木伸也・天田聖(1996)、『ベトナムの財政金融改革』海外経済協力基金開発援助研究所
2. 竹内郁雄(1991)、「ベトナムにおける第1次改革の考察」『アジア経済』アジア経済研究所、1991年6、7月号
3. 坪井善明(1994)、『ヴィエトナム 「豊かさ」への夜明け』岩波書店
4. トラン・ヴァン・トゥ(1996)、『ベトナム経済の新展開』日本経済新聞社
5. 服部亮三(1995)、「ヴィエトナムの財政金融」(『ヴィエトナム国別援助研究会報告書現状分析編』国際協力事業団、1995年3月)
6. 古田元夫(1996)、『ベトナムの現在』講談社
7. 渡辺慎一(1995)、「ベトナムにおける金融システムの改革と海外要因」(伊藤和久編『発展途上国の金融改革と国際化』アジア経済研究所)
8. John R. Dodsworth, Erich Spittaler, Michael Bräulke, Keon Hyok Lee, Kenneth Miranda, Christian Mulder, Hisanobu Shishido, and Krishna Srinivasan (1996), Vietnam, Transition to a Market Economy, IMF occasional paper 135, International Monetary Fund, Washington D.C.
9. World Bank(1995a), Viet Nam, Financial Sector Review, World Bank, Washington D.C.
10. World Bank(1995b), Viet Nam, Economic Report on Industrialization and Industrial Policy, World Bank, Washington D.C.

表 1 GDP by Industrial sector

(1) GDP (billion dong)

		1985	1986	1987	1988	1989	1990
Current Price	First	na	228	1,164	7,139	11,818	16,252
	Second	na	173	814	3,695	6,444	9,513
	Third	na	198	892	4,586	9,831	16,190
	GDP	na	599	2,870	15,420	28,093	41,955
Constant Price (1989)	First	na	10,705	10,649	11,069	11,818	12,003
	Second	na	5,769	6,297	6,630	6,444	6,629
	Third	na	7,220	7,616	8,313	9,831	10,894
	GDP	na	23,694	24,562	26,012	28,093	29,526

		1991	1992	1993	1994	1995	1996*
Current Price	First	31,058	37,513	40,796	48,865	63,219	70,334
	Second	18,252	30,135	39,472	50,481	66,804	79,501
	Third	27,397	42,887	56,303	70,912	92,817	108,774
	GDP	76,707	110,535	136,571	170,258	222,840	258,609
Constant Price (1989)	First	12,264	13,132	13,634	14,169	14,892	15,551
	Second	7,228	8,242	9,324	10,631	12,113	14,002
	Third	11,794	12,617	13,777	15,182	16,792	18,335
	GDP	31,286	33,991	36,735	39,982	43,797	47,888

(2) Growth rate of GDP

		1985	1986	1987	1988	1989	1990
Current Price	First	na	na	410.5%	513.3%	65.5%	37.5%
	Second	na	na	370.5%	353.9%	74.4%	47.6%
	Third	na	na	350.5%	414.1%	114.4%	64.7%
	GDP	na	na	379.1%	437.3%	82.2%	49.3%
Constant Price (1989)	First	na	na	-0.5%	3.9%	6.8%	1.6%
	Second	na	na	9.2%	5.3%	-2.8%	2.9%
	Third	na	na	5.5%	9.2%	18.3%	10.8%
	GDP	na	na	3.7%	5.9%	8.0%	5.1%

		1991	1992	1993	1994	1995	1996*
Current Price	First	91.1%	20.8%	8.8%	19.8%	29.4%	11.3%
	Second	91.9%	65.1%	31.0%	27.9%	32.3%	19.0%
	Third	69.2%	56.5%	31.3%	25.9%	30.9%	17.2%
	GDP	82.8%	44.1%	23.6%	24.7%	30.9%	16.1%
Constant Price (1989)	First	2.2%	7.1%	3.8%	3.9%	5.1%	4.4%
	Second	9.0%	14.0%	13.1%	14.0%	13.9%	15.6%
	Third	8.3%	7.0%	9.2%	10.2%	10.6%	9.2%
	GDP	6.0%	8.6%	8.1%	8.8%	9.5%	9.3%

Notes

First Industry Includes Agriculture, Forestry And Fishery.

Second Industry Includes Industry And Construction.

* : Quick Estimates

Source GSO

表2 Contribution to GDP by industrial sector

(1) Contribution

		1985	1986	1987	1988	1989	1990
Current Price	First	na	na	156.3%	208.2%	30.3%	15.8%
	Second	na	na	107.0%	100.4%	17.8%	10.9%
	Third	na	na	115.9%	128.7%	34.0%	22.6%
	GDP	na	na	379.1%	437.3%	82.2%	49.3%
Constant Price (1989)	First	na	na	-0.2%	1.7%	2.9%	0.7%
	Second	na	na	2.2%	1.4%	-0.7%	0.7%
	Third	na	na	1.7%	2.8%	5.8%	3.8%
	GDP	na	na	3.7%	5.9%	8.0%	5.1%

		1991	1992	1993	1994	1995	1996*
Current Price	First	35.3%	8.4%	3.0%	5.9%	8.4%	3.2%
	Second	20.8%	15.5%	8.4%	8.1%	9.6%	5.7%
	Third	26.7%	20.2%	12.1%	10.7%	12.9%	7.2%
	GDP	82.8%	44.1%	23.6%	24.7%	30.9%	16.1%
Constant Price (1989)	First	0.9%	2.8%	1.5%	1.5%	1.8%	1.5%
	Second	2.0%	3.2%	3.2%	3.6%	3.7%	4.3%
	Third	3.0%	2.6%	3.4%	3.8%	4.0%	3.5%
	GDP	6.0%	8.6%	8.1%	8.8%	9.5%	9.3%

(2) Share of contribution

		1985	1986	1987	1988	1989	1990
Current Price	First	na	na	41.2%	47.6%	36.9%	32.0%
	Second	na	na	28.2%	23.0%	21.7%	22.1%
	Third	na	na	30.6%	29.4%	41.4%	45.9%
	GDP	na	na	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
Constant Price (1989)	First	na	na	-6.5%	29.0%	36.0%	12.9%
	Second	na	na	60.8%	23.0%	-8.9%	12.9%
	Third	na	na	45.6%	48.1%	72.9%	74.2%
	GDP	na	na	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

		1991	1992	1993	1994	1995	1996*
Current Price	First	42.6%	19.1%	12.6%	24.0%	27.3%	19.9%
	Second	25.1%	35.1%	35.9%	32.7%	31.0%	35.5%
	Third	32.2%	45.8%	51.5%	43.4%	41.7%	44.6%
	GDP	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
Constant Price (1989)	First	14.8%	32.1%	18.3%	16.5%	19.0%	16.1%
	Second	34.0%	37.5%	39.4%	40.3%	38.8%	46.2%
	Third	51.1%	30.4%	42.3%	43.3%	42.2%	37.7%
	GDP	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Note * : Quick estimates

Source GSO

表3 Share of GDP by industrial sector

		1985	1986	1987	1988	1989	1990
Current Price	First	na	38.1%	40.6%	46.3%	42.1%	38.7%
	Second	na	28.9%	28.4%	24.0%	22.9%	22.7%
	Third	na	33.1%	31.1%	29.7%	35.0%	38.6%
	GDP	na	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
Constant Price (1989)	First	na	45.2%	43.4%	42.6%	42.1%	40.7%
	Second	na	24.3%	25.6%	25.5%	22.9%	22.5%
	Third	na	30.5%	31.0%	32.0%	35.0%	36.9%
	GDP	na	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

		1991	1992	1993	1994	1995	1996*
Current Price	First	40.5%	33.9%	29.9%	28.7%	28.4%	27.2%
	Second	23.8%	27.3%	28.9%	29.6%	30.0%	30.7%
	Third	35.7%	38.8%	41.2%	41.6%	41.7%	42.1%
	GDP	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
Constant Price (1989)	First	39.2%	38.6%	37.1%	35.4%	34.0%	32.5%
	Second	23.1%	24.2%	25.4%	26.6%	27.7%	29.2%
	Third	37.7%	37.1%	37.5%	38.0%	38.3%	38.3%
	GDP	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Note *: Quick estimates

Source: GSO

表4 GDP deflator

		1985	1986	1987	1988	1989	1990
1989=100	First	na	2.1	10.9	64.4	100.0	135.0
	Second	na	3.0	12.9	56.3	100.0	143.7
	Third	na	2.7	11.7	55.2	100.0	148.6
	GDP	na	2.5	11.7	59.3	100.0	142.1
Growth Rate (%)	First	na	na	419.0%	490.8%	55.3%	35.0%
	Second	na	na	330.0%	336.4%	77.6%	43.7%
	Third	na	na	333.3%	371.8%	81.2%	48.6%
	GDP	na	na	368.0%	406.8%	68.6%	42.1%

		1991	1992	1993	1994	1995	1996*
1989=100	First	253	286	299	345	425	452
	Second	253	366	423	475	552	568
	Third	232	340	409	467	553	593
	GDP	245	325	372	426	509	540
Growth Rate (%)	First	87.6%	12.8%	4.7%	15.3%	23.1%	6.5%
	Second	75.7%	44.8%	15.8%	12.2%	16.1%	3.0%
	Third	56.3%	46.3%	20.2%	14.3%	18.3%	7.3%
	GDP	72.5%	32.6%	14.3%	14.5%	19.5%	6.1%

Note *: Quick estimates

Source: GSO

表5 Share of GDP by state/non-state sector

		1985	1986	1987	1988	1989	1990
Current	State	na	37.6%	35.8%	32.5%	33.2%	32.5%
Price	Non-state	na	62.4%	64.2%	67.5%	66.8%	67.5%
	GDP	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

		1991	1992	1993	1994	1995	1996*
Current	State	33.3%	36.2%	39.2%	40.2%	42.2%	
Price	Non-state	66.7%	63.8%	60.8%	59.8%	57.8%	
	GDP	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Note * : Quick estimates

Source GSO

表6 GDP by expenditures and their share (current price) (billion dong, %)

	1985	1986	1987	1988	1989	1990
Final consumption	122	592	2829	14925	27096	40736
Gross capital formation	17	70	314	2216	3259	6025
Trade balance	-15	-59	-253	-1706	-2867	-3876
Error	-5	-4	-20	-15	605	-930
GDP	119	599	2870	15420	28093	41955
Final consumption	102.5%	98.8%	98.6%	96.8%	96.5%	97.1%
Gross capital formation	14.3%	11.7%	10.9%	14.4%	11.6%	14.4%
Trade balance	-12.6%	-9.8%	-8.8%	-11.1%	-10.2%	-9.2%
Error	-4.2%	-0.7%	-0.7%	-0.1%	2.2%	-2.2%
GDP	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

	1991	1992	1993	1994	1995	1996
Final consumption	68959	95314	116719	141175	180522	
Gross capital formation	11506	19498	34020	43375	60488	
Trade balance	-3925	-4516	-12296	-16866	-20819	
Error	167	239	-1872	2574	2649	
GDP	76707	110535	136571	170258	222840	258609
Final consumption	89.9%	86.2%	85.5%	82.9%	81.0%	
Gross capital formation	15.0%	17.6%	24.9%	25.5%	27.1%	
Trade balance	-5.1%	-4.1%	-9.0%	-9.9%	-9.3%	
Error	0.2%	0.2%	-1.4%	1.5%	1.2%	
GDP	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

Source GSO

表7 Investment and fund sources in Five-year Plan (1995 billion USD, %)

	1991-1995		1996-2000	
	(Actual)		(Plan)	
Investment	18.0	100.0	41.0-42.0	100.0
State	7.7	43.0	15.6	37.1
FDI	4.9	27.0	14.0	33.3
Private	5.4	30.0	12.4	29.5
Fund Sources	18.0	100.0	41.0-42.0	100.0
ODA	2.0	11.1	8.0	19.0
FDI	4.5	24.7	14.0	33.0
Domestic	11.5	63.9	21.0	50.0

Source: Government Report to CG

表8 GDI disbursement

	1991	1992	1993	1994	1995
FDI Disbursement (Mil U)	260	535	1001	1772	1780
FDI Disbursement (billion dong)	2300	5990	10663	19441	19644
Ratio to gross capital formation	20.0%	30.7%	31.3%	44.8%	32.5%
Gross capital formation (billion dong)	11506	19498	34020	43375	60488

Yearly exchange rates are used in calculating FDI in terms of dong.

Source: GSO, MPI

表9 Budgetary Operations

	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994
Revenue and Grants	84	379	1740	3899	6153	10953	21023	30500	42125
Current Expenditure(exc.Interest)	82	393	2141	4338	6156	8728	15452	25700	31121
Capital Expenditure	38	120	673	1626	2124	2135	6450	9600	11715
Overall Primary Balance	-36	-134	-1074	-2065	-2127	-510	-879	-4800	-711
Interest (Scheduled)	1	2	26	817	1242	2333	3218	3675	3734
Overall Balance (Accrual Basis)	-37	-136	-1100	-2882	-3369	-2843	-4097	-8475	-4445
Ratio to GDP	-6.2%	-4.7%	-7.1%	-10.3%	-8.0%	-3.7%	-3.7%	-6.2%	-2.6%
Overall Balance (Cash Basis)	-37	-136	-1100	-2113	-2437	-1160	-1879	-6510	-2945
Financing	37	136	1100	2113	2437	1160	1879	6510	2945
Foreign Grants and Loans (net)	14	43	370	414	1264	767	2673	1925	622
Domestic Loans (net)	23	92	467	1700	1173	393	-794	4585	2323
State Bank (net)	23	89	450	1931	832	689	-2208	2044	415
Government Securities (net)	0	3	17	-231	341	-296	1414	2541	1908
Arrears			263						
Financing	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
Foreign Grants and Loans (net)	37.8%	31.6%	33.6%	19.6%	51.9%	66.1%	142.3%	29.6%	21.1%
Domestic Loans (net)	62.2%	67.6%	42.5%	80.5%	48.1%	33.9%	-42.3%	70.4%	78.9%
State Bank (net)	62.2%	65.4%	40.9%	91.4%	34.1%	59.4%	-117.5%	31.4%	14.1%
Government Securities (net)	0.0%	2.2%	1.5%	-10.9%	14.0%	-25.5%	75.3%	39.0%	64.8%
Arrears			23.9%						

Source World Bank

表 10 Trade balance

(1) Yearly data (million USD, %)

	1985	1986	1987	1988	1989	1990
Export(Mil. USD)	na	789	854	1038	1946	2404
Import(Mil. USD)	na	2155	2455	2757	2566	2752
Balance(Mil. USD)	na	-1366	-1601	-1719	-620	-348

	1991	1992	1993	1994	*1995	*1996
Export(mil. USD)	2,087.1	2,580.7	2,985.2	4,054.3	5,448.9	7,255.8
Import(mil. USD)	2,338.1	2,540.7	3,924.0	5,825.8	8,155.4	11,144.0
Balance(mil. USD)	-251.0	40.0	-938.8	-1,771.5	-2,706.5	-3,888.2
Export/GDP	24.1%	26.1%	23.3%	26.1%	27.0%	31.0%
Import/GDP	27.0%	25.7%	30.6%	37.5%	40.4%	47.6%
Balance/GDP	-2.9%	0.4%	-7.3%	-11.4%	-13.4%	-16.6%

(2) Recent quarterly data*

	1995/1Q	1995/2Q	1995/3Q	1995/4Q	Total
Export(mil. USD)	940	1,260	1,500	1,749	5,449
Import(mil. USD)	1,025	1,345	2,006	3,779	8,155
Balance(mil. USD)	-85	-85	-506	-2,031	-2,707

	1996/1Q	1996/2Q	1996/3Q	1996/4Q	Total
Export(mil. USD)	1,345	1,705	2,136	2,070	7,256
Import(mil. USD)	2,523	2,477	3,425	2,719	11,144
Balance(mil. USD)	-1,178	-772	-1,289	-649	-3,888

Note *: Including business having foreign direct investment

In calculating balance, export and import are converted to dong using yearly exchange rate.

Source GSO

表 11 Consumer price index (1)
(1) Growth rate of consumer prices by month (%)

	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996
January	26.5	11.8	18.3	7.4	2.9	13.2	4.4	1.7	1.8	3.8	0.9
February	24.3	11.2	14.0	9.2	3.8	8.7	5.5	1.9	3.7	3.4	2.5
March	19.2	14.4	28.4	5.4	1.9	0.5	0.5	-0.5	-0.4	0.2	0.8
April	20.6	12.7	23.8	3.5	2.5	2.2	0.9	-0.2	0.3	1.0	0.1
May	21.0	13.2	27.6	-0.2	2.6	3.0	1.3	1.5	0.6	1.8	-0.5
June	21.0	13.4	16.8	-2.9	2.1	1.7	0.1	-0.3	0.9	0.8	-0.5
July	14.8	13.5	9.6	-1.5	3.6	2.5	0.3	-0.2	0.2	0.0	-0.7
August	16.8	9.0	7.5	0.2	5.8	3.4	0.3	0.5	0.9	0.3	-0.4
September	17.2	7.9	6.5	1.6	4.7	3.7	0.0	-0.1	1.6	0.5	0.3
October	20.3	7.2	8.0	2.5	6.4	2.8	-0.2	-0.3	1.3	0.1	0.1
November	16.5	6.5	8.3	2.6	7.8	5.6	2.0	0.0	1.7	0.1	0.9
December	20.0	5.8	5.3	3.0	8.9	6.1	1.4	1.2	1.1	0.3	1.0

(2) Consumer price index (Jan.1986 = 100)

	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996
January	100.0	773.0	2713.7	12164.7	15695.6	28925.0	44706.8	51217.5	53975.0	63030.8	69182.7
February	124.3	859.6	3093.6	13283.9	16292.0	31441.4	47165.7	52190.6	55972.1	65173.8	70912.3
March	148.2	983.4	3972.2	14001.2	16601.6	31598.6	47401.5	51929.7	55748.2	65304.2	71479.6
April	178.7	1108.3	4917.6	14491.3	17016.6	32293.8	47828.1	51825.8	55915.5	65957.2	71551.1
May	216.2	1254.6	6274.9	14462.3	17459.0	33262.6	48449.9	52603.2	56251.0	67144.4	71193.3
June	261.6	1422.7	7329.1	14042.9	17825.7	33828.1	48498.3	52445.4	56757.2	67681.6	70837.4
July	300.3	1614.7	8032.7	13832.2	18467.4	34673.8	48643.8	52340.5	56870.7	67681.6	70341.5
August	350.8	1760.1	8635.1	13859.9	19538.5	35852.7	48789.8	52602.2	57382.6	67884.6	70060.1
September	411.1	1899.1	9196.4	14081.7	20456.8	37179.3	48789.8	52549.6	58300.7	68224.1	70270.3
October	494.6	2035.8	9932.1	14433.7	21766.1	38220.3	48692.2	52392.0	59058.6	68292.3	70340.6
November	576.2	2168.2	10756.5	14809.0	23463.8	40360.6	49666.0	52392.0	60062.6	68360.6	70973.7
December	691.4	2293.9	11326.6	15253.2	25552.1	42822.6	50361.4	53020.7	60723.3	68565.6	71683.4
Annual index (Jan. 1986=100)	321.1	1514.4	7181.7	14059.7	19177.9	35038.2	48249.4	52292.4	57251.5	66941.7	70735.5
Annual index (1989=100)	2.3	10.8	51.1	100.0	136.4	249.2	343.2	371.9	407.2	476.1	503.1
Annual growth rate	na	371.6%	374.2%	95.8%	36.4%	82.7%	37.7%	8.4%	9.5%	16.9%	5.7%
Dec/Dec growth rate	na	231.8%	393.8%	34.7%	67.5%	67.6%	17.6%	5.3%	14.5%	12.9%	4.5%

Source GSO

表 12 Consumer price index (2) (previous December = 100)

	1991	1992	1993	1994	1995	1996
	December	December	December	December	December	December
CPI	167.5	117.5	105.2	114.4	112.7	104.5
Staples	154.2	85.3	106.3	139.0	120.6	100.2
Other food	183.5	118.2	107.8	116.3	119.3	106.3
Consumer goods	170.4	121.7	99.6	105.9	106.8	103.2
Services	140.5	141.1	119.2	113.0	109.8	108.5

Source GSO

表 13 Interest rates

(1) Short-term lending rate (%/month)

	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996
January	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.5	2.7	2.1	2.1	1.75
February	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.5	2.7	2.1	2.1	1.75
March	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.5	2.7	2.1	2.1	1.75
April	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.5	2.3	2.1	2.1	1.75
May	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.5	2.3	2.1	2.1	1.75
June	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.5	2.3	2.1	2.1	1.75
July	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.2	2.3	2.1	2.1	1.60
August	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.2	2.3	2.1	2.1	1.60
September	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.5	3.5	2.3	2.1	2.1	1.40
October	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.5	3.5	2.1	2.1	2.1	1.25
November	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.5	2.7	2.1	2.1	2.1	1.25
December	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.5	2.7	2.1	2.1	2.1	1.25

(2) Medium and long-term lending rate (%/month)

	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996
January	0.45	0.48	2.01	3.50	3.50	3.50	3.00	1.80	1.20	1.70	1.70
February	0.45	0.48	2.01	3.50	3.50	3.50	3.00	1.80	1.20	1.70	1.70
March	0.45	0.48	2.01	3.50	3.50	3.60	3.00	1.80	1.20	1.70	1.70
April	0.45	0.48	2.01	3.50	3.50	3.60	3.00	1.50	1.20	1.70	1.70
May	0.45	0.48	2.01	3.50	3.50	3.60	3.00	1.50	1.20	1.70	1.70
June	0.45	0.48	2.01	3.50	3.50	3.60	3.00	1.50	1.20	1.70	1.70
July	0.45	3.30	2.01	3.50	3.50	3.60	3.00	1.50	1.20	1.70	1.65
August	0.48	3.30	2.01	3.50	3.50	3.60	2.40	1.50	1.70	1.70	1.65
September	0.48	3.30	2.01	3.50	3.50	3.00	2.40	1.50	1.70	1.70	1.45
October	0.48	3.30	2.01	3.50	3.50	3.00	1.80	1.20	1.70	1.70	1.35
November	0.48	2.01	2.01	3.50	3.50	3.00	1.80	1.20	1.70	1.70	1.35
December	0.48	2.01	2.01	3.50	3.50	3.00	1.80	1.20	1.70	1.70	1.35

(3) Three months deposit rate (%/month)

	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996
January	0.25	0.25	0.25	0.25	7.00	4.00	3.50	2.00	1.40	1.40	0.90
February	0.25	0.25	0.25	0.25	7.00	4.00	3.50	2.00	1.40	1.40	0.90
March	0.25	0.25	0.25	12.00	4.00	4.00	3.50	2.00	1.40	1.40	0.90
April	0.25	0.25	0.25	12.00	4.00	4.00	3.50	1.70	1.40	1.40	0.90
May	0.25	0.25	0.25	9.00	4.00	4.00	3.50	1.70	1.40	1.40	0.90
June	0.25	0.25	0.25	7.00	4.00	4.00	3.00	1.70	1.40	1.40	0.85
July	0.25	0.25	0.25	7.00	4.00	3.50	3.00	1.70	1.40	1.40	0.85
August	0.25	0.25	0.25	7.00	4.00	3.50	2.30	1.70	1.40	1.40	0.80
September	0.25	0.25	0.25	7.00	4.00	3.50	2.30	1.70	1.40	1.40	0.60
October	0.25	0.25	0.25	7.00	4.00	3.50	2.00	1.40	1.40	1.40	0.55
November	0.25	0.25	0.25	7.00	4.00	3.50	2.00	1.40	1.40	1.40	0.65
December	0.25	0.25	0.25	7.00	4.00	3.50	2.00	1.40	1.40	1.40	0.80

(4) Spread ((1)-(3)) (%/month)

	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996
January	3.75	3.75	3.75	3.75	-3.00	0.00	0.00	0.70	0.70	0.70	0.85
February	3.75	3.75	3.75	3.75	-3.00	0.00	0.00	0.70	0.70	0.70	0.85
March	3.75	3.75	3.75	-8.00	0.00	0.00	0.00	0.70	0.70	0.70	0.85
April	3.75	3.75	3.75	-8.00	0.00	0.00	0.00	0.60	0.70	0.70	0.85
May	3.75	3.75	3.75	-5.00	0.00	0.00	0.00	0.60	0.70	0.70	0.85
June	3.75	3.75	3.75	-3.00	0.00	0.00	0.50	0.60	0.70	0.70	0.90
July	3.75	3.75	3.75	-3.00	0.00	0.50	1.20	0.60	0.70	0.70	0.75
August	3.75	3.75	3.75	-3.00	0.00	0.50	1.90	0.60	0.70	0.70	0.80
September	3.75	3.75	3.75	-3.00	0.00	0.00	1.20	0.60	0.70	0.70	0.80
October	3.75	3.75	3.75	-3.00	0.00	0.00	1.50	0.70	0.70	0.70	0.70
November	3.75	3.75	3.75	-3.00	0.00	0.00	0.70	0.70	0.70	0.70	0.60
December	3.75	3.75	3.75	-3.00	0.00	0.00	0.70	0.70	0.70	0.70	0.45

(5) Spread ((2)-(3)) (%/month)

	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996
January	0.20	0.23	1.76	3.25	-3.50	-0.50	-0.50	-0.20	-0.20	0.30	0.80
February	0.20	0.23	1.76	3.25	-3.50	-0.50	-0.50	-0.20	-0.20	0.30	0.80
march	0.20	0.23	1.76	-8.50	-0.50	-0.40	-0.50	-0.20	-0.20	0.30	0.80
April	0.20	0.23	1.76	-8.50	-0.50	-0.40	-0.50	-0.20	-0.20	0.30	0.80
May	0.20	0.23	1.76	-5.50	-0.50	-0.40	-0.50	-0.20	-0.20	0.30	0.80
June	0.20	0.23	1.76	-3.50	-0.50	-0.40	0.00	-0.20	-0.20	0.30	0.85
July	0.20	3.05	1.76	-3.50	-0.50	0.10	0.00	-0.20	-0.20	0.30	0.80
August	0.23	3.05	1.76	-3.50	-0.50	0.10	0.10	-0.20	0.30	0.30	0.85
September	0.23	3.05	1.76	-3.50	-0.50	-0.50	0.10	-0.20	0.30	0.30	0.85
October	0.23	3.05	1.76	-3.50	-0.50	-0.50	-0.20	-0.20	0.30	0.30	0.80
November	0.23	1.76	1.76	-3.50	-0.50	-0.50	-0.20	-0.20	0.30	0.30	0.70
December	0.23	1.76	1.76	-3.50	-0.50	-0.50	-0.20	-0.20	0.30	0.30	0.55

(6) Three months deposit interest rate in real terms (%/month)

	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996
January	-26.25	-11.55	-18.05	-7.15	4.10	-9.20	-0.90	0.30	-0.40	-2.40	0.00
February	-24.05	-10.95	-13.75	-8.95	3.20	-4.70	-2.00	0.10	-2.30	-2.00	-1.60
March	-18.95	-14.15	-28.15	6.60	2.10	3.50	3.00	2.50	1.80	1.20	0.10
April	-20.35	-12.45	-23.55	8.50	1.50	1.80	2.60	1.90	1.10	0.40	0.80
May	-20.75	-12.95	-27.35	9.20	1.40	1.00	2.20	0.20	0.80	-0.40	1.40
June	-20.75	-13.15	-16.55	9.90	1.90	2.30	2.90	2.00	0.50	0.60	1.35
July	-14.55	-13.25	-9.35	8.50	0.40	1.00	2.70	1.90	1.20	1.40	1.55
August	-16.55	-8.75	-7.25	6.80	-1.80	0.10	2.00	1.20	0.50	1.10	1.20
September	-16.95	-7.65	-6.25	5.40	-0.70	-0.20	2.30	1.80	-0.20	0.90	0.30
October	-20.05	-6.95	-7.75	4.50	-2.40	0.70	2.20	1.70	0.10	1.30	0.45
November	-16.25	-6.25	-8.05	4.40	-3.80	-2.10	0.00	1.40	-0.30	1.30	-0.25
December	-19.75	-5.55	-5.05	4.00	-4.90	-2.60	0.60	0.20	0.30	1.10	-0.20

Three months deposit rate - CPI growth rate

Source State Bank of Viet Nam, GSO

表 14 Exchange rate (dong/dollar)

	1991	1992	1993	1994	1995	1996
	official rate	Vietcombank selling				
January	7,000.0	11,749.0	10,520.0	10,870.0	11,053.0	11,018.0
February	7,000.0	11,527.0	10,551.0	10,879.0	11,058.0	11,020.0
March	7,150.0	11,529.0	10,538.0	10,931.0	11,059.0	11,020.0
April	7,200.0	11,418.0	10,551.0	10,953.0	11,055.0	11,018.0
May	7,300.0	11,306.0	10,569.0	10,966.0	11,056.0	11,018.0
June	7,880.0	11,267.0	10,595.0	10,981.0	11,056.0	11,018.0
July	7,600.0	11,116.0	10,619.0	10,991.0	11,052.0	11,018.0
August	8,225.0	10,987.5	10,677.0	10,997.0	11,046.0	11,019.0
September	9,200.0	10,956.5	10,762.0	11,002.0	11,036.0	11,025.0
October	12,065.7	10,914.5	10,781.0	11,006.0	11,019.0	11,028.0
November	12,793.3	10,853.0	10,821.0	11,028.0	11,015.0	11,110.0
December	12,742.5	10,736.0	10,850.0	11,052.0	11,018.0	11,125.0
Average	8,846.4	11,196.6	10,652.8	10,971.3	11,043.6	11,036.4

Source State Bank of Viet Nam

表 15 Monetary survey (1) (billions of dong)

	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994
Foreign assets (net)	-23	210	284	1004	2626	8503	10593	6231	7221
Net domestic assets:	135	261	2285	6416	8732	11797	16550	26055	34052
of which:									
Domestic credit	153	532	2633	6717	9960	14111	17122	27079	35688
Government (net)	19	80	669	2600	4032	3956	1913	3870	4503
Non-fin. public enterprises	117	376	1709	3606	5308	9129	12439	15511	19562
Non-state sector	17	76	255	511	620	1026	2770	7698	11623
Other items(net)	-18	-271	-348	-301	-1229	-2314	-572	-1024	-1636
Total liquidity (m2)	111	471	2569	8575	11357	20301	27144	32288	41273
Currency in circulation	55	205	1024	2352	3735	6419	10579	14218	18652
Deposits(in dong)	54	237	1303	4127	3943	5528	8352	10665	14429
Deposits(in foreign currency)	1	29	242	2096	3680	8354	8213	7406	8192

Contribution to the growth rate of domestic credit and total liquidity (M2)

	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994
Domestic credit	na	247.7%	394.9%	155.1%	48.3%	41.7%	21.3%	58.2%	31.8%
Government (net)	na	39.9%	110.7%	73.3%	21.3%	-0.8%	-14.5%	11.4%	2.3%
Non-fin. public enterprises	na	169.3%	250.6%	72.0%	25.3%	38.4%	23.5%	17.9%	15.0%
Non-state sector	na	38.6%	33.6%	9.7%	1.6%	4.1%	12.4%	28.8%	14.5%
Total liquidity (m2)	na	324.3%	445.4%	233.8%	32.4%	78.8%	33.7%	19.0%	27.8%
Currency in circulation	na	135.1%	173.9%	51.7%	16.1%	23.6%	20.5%	13.4%	13.7%
Deposits(in dong)	na	164.9%	226.3%	109.9%	-2.1%	14.0%	13.9%	8.5%	11.7%
Deposits(in foreign currency)	na	25.2%	45.2%	72.2%	18.5%	41.2%	-0.7%	-3.0%	2.4%

Source World Bank

表 16 Monetary survey(2)(billion dong)

	dec-94	dec-95	dec-96
Net foreign assets	6,940	10,850	14,249
SBVN	6,559	10,999	14,040
Commercial banks	381	-149	209
Net domestic assets	36,066	41,860	50,429
Government (net)	4,551	4,472	4,428
State enterprises	20,464	24,079	26,809
Private/other sectors	12,905	18,231	23,980
Claims on NBFIs	31	61	105
Interbank float	-2,323	-2,295	-1,025
Capital and reserves	-4,010	-6,101	-7,292
SBVN	-660	-809	-1,055
Commercial banks	-3,350	-5,292	-6,237
Net unclassified	4,448	3,413	3,424
Broad money	43,008	52,710	64,678
	33.2%	22.6%	22.7%
Narrow money(ml)	23,683	26,536	33,438
growth rate	24.6%	12.0%	26.0%
Currency in circulation	18,624	19,170	22,639
growth rate	31.0%	2.9%	18.1%
Demand deposit	5,059	7,366	10,799
growth rate	5.5%	45.6%	46.6%
Quasi-money	19,324	26,173	31,239
growth rate	46.4%	35.4%	19.4%
Time/savings deposits	5,212	9,622	12,445
growth rate	60.4%	84.6%	29.3%
Deposits substitutes	4,582	5,490	5,635
growth rate	80.1%	19.8%	2.6%
Foreign currency deposits	9,530	11,061	13,159
growth rate	28.7%	16.1%	19.0%
Other	1	1	1

Source: State Bank of Viet Nam

表 17 Summary accounts of the State Bank of Viet Nam (billion dong)

	Dec-94	Dec-95	Dec-96
Net foreign assets	6,558	10,999	14,040
foreign assets	9,676	15,153	20,031
foreign liabilities ¹⁾	3,118	4,154	5,991
Net domestic assets	17,979	17,053	19,236
Government(net)	4,009	3,018	5,193
Credit	9,640	9,593	12,576
Deposits	5,631	6,575	7,383
State enterprises	0	0	0
Commercial banks	7,784	6,839	7,798
State-owned banks	7,690	6,741	7,640
Others	94	98	158
o.w.foreign currency	1,252	1,113	1,027
Other items	6,186	7,196	6,245
Assets	23,599	32,465	36,999
Liabilities	17,413	25,269	30,754
Liabilities	24,538	28,052	33,275
Currency in circulation	19,396	20,017	23,803
Bank deposits	4,414	6,325	7,830
Reserve requirement	1,675	0	0
Transaction balances	2,739	6,325	7,830
SBVN bills	14	405	0
Other deposits	54	496	587
Capital and reserves	660	809	1,055

Note 1) includes liabilities to IMF

Source State Bank of Viet Nam

表 18 Distribution of Bank Credit by Borrower (billion dong)

	Dec-94				Dec-95				Dec-96									
	ABV	BIDV	BICV	VCOM	OTHERS	TOTAL	ABV	BIDV	BICV	VCOM	OTHERS	TOTAL	ABV	BIDV	BICV	VCOM	OTHERS	TOTAL
1.State enterprises and others																		
(1)Total	7,853	6,461	7,057	5,687	3,535	30,593	9,575	7,957	8,601	7,534	9,449	43,096	11,368	9,121	9,955	7,874	12,428	50,746
o.w.overdue	1,123	194	541	936	129	2,923	1,331	259	803	653	285	3,331	1,697	409	1,147	931	517	4,701
ratio	14.3%	3.0%	7.7%	16.5%	3.6%	9.6%	13.9%	3.3%	9.3%	8.7%	3.0%	7.7%	14.9%	4.5%	11.5%	11.8%	4.2%	9.3%
o.w.foreign currency loans	1,438	2,406	1,156	3,791	1,788	10,579	1,820	2,739	1,700	4,679	5,444	16,382	2,330	2,781	1,954	4,243	7,299	18,607
ratio	18.3%	37.2%	16.4%	66.7%	50.6%	34.6%	19.0%	34.5%	19.8%	62.1%	57.6%	38.0%	20.5%	30.5%	19.6%	53.9%	58.7%	36.7%
(2)State enterprises	2,679	6,193	3,751	4,891	1,498	19,012	2,736	7,230	4,795	6,093	3,224	24,078	2,910	8,275	4,440	6,403	4,779	26,807
o.w.overdue	364	179	328	880	91	1,842	364	227	303	624	81	1,599	498	354	392	605	236	2,085
ratio	13.6%	2.9%	8.7%	18.0%	6.1%	9.7%	13.3%	3.1%	6.3%	10.2%	2.5%	6.6%	17.1%	4.3%	8.8%	9.4%	4.9%	7.8%
Short-term	1,442	1,686	2,963	3,447	1,382	10,920	1,455	2,869	3,854	3,835	2,628	14,641	1,233	3,366	3,356	4,127	3,475	15,557
o.w.foreign currency loans	199	338	512	2,105	881	4,035	511	357	863	2,019	1,994	5,744	698	474	1,022	1,754	2,337	6,285
Long-term	1,237	4,507	788	1,444	116	8,092	1,281	4,361	941	2,258	596	9,437	1,677	4,909	1,084	2,276	1,304	11,250
o.w.foreign currency loans	1,088	2,044	508	1,299	116	5,055	1,145	2,343	599	2,084	595	6,766	1,478	2,271	694	2,144	1,245	7,832
(3)Private Sector	4,867	196	2,530	267	1,053	8,913	6,458	576	1,879	387	1,925	11,225	8,041	654	1,612	299	2,574	13,180
o.w.overdue	729	12	135	25	20	921	910	28	405	4	77	1,424	1,118	41	630	58	120	1,967
ratio	15.0%	6.1%	5.3%	9.4%	1.9%	10.3%	14.1%	4.9%	21.6%	1.0%	4.0%	12.7%	13.9%	6.3%	39.1%	19.4%	4.7%	14.9%
Short-term	4,092	162	2,351	209	1,023	7,837	4,734	521	1,476	326	1,820	8,877	5,813	590	1,229	264	2,354	10,250
o.w.foreign currency loans	16	1	24	17	196	254	11	10	15	52	126	214	0	7	10	26	148	191
Long-term	775	34	179	58	30	1,076	1,724	55	403	61	105	2,348	2,228	64	383	35	220	2,930
o.w.foreign currency loans	0	0	35	20	27	82	4	0	38	6	101	149	16	3	41	3	118	181
(4)Other sector	307	72	776	529	984	2,668	381	131	1,927	1,054	4,300	7,793	417	192	3,903	1,172	5,075	10,759
o.w.overdue	30	3	78	31	18	160	57	4	95	25	127	308	81	14	125	268	161	649
ratio	9.8%	4.2%	10.1%	5.9%	1.8%	6.0%	15.0%	3.1%	4.9%	2.4%	3.0%	4.0%	19.4%	7.3%	3.2%	22.9%	3.2%	6.0%
Short-term	239	62	667	354	862	2,194	295	119	1,677	828	2,634	5,553	301	178	3,549	888	3,692	8,608
o.w.foreign currency	124	18	31	201	469	843	110	29	92	376	1,815	2,422	73	25	73	162	2,258	2,591
Long-term	68	10	109	165	122	474	86	12	250	226	1,666	2,240	116	14	354	284	1,383	2,151
o.w.foreign currency	11	5	46	149	99	310	39	0	93	142	813	1,087	65	1	114	154	1,193	1,527
2.Central Government(net)	-746	-1,321	60	1,770	171	-66	-749	-1,442	1,284	823	936	852	-1,195	-436	56	800	11	-764
Credits	48	7	116	2,350	179	2,700	66	71	1,319	1,765	950	4,171	0	54	97	1,819	61	2,031
Deposits	794	1,328	56	580	8	2,766	815	1,513	35	942	14	3,319	1,195	490	41	1,019	50	2,795
3.Overall bank credits	7,019	5,140	6,997	7,457	3,706	30,319	8,826	6,495	9,885	8,357	9,566	43,129	10,173	8,685	10,011	8,674	12,439	49,982

Source: State Bank of Viet Nam

表 19 Overdue Loan Ratio (overdue loan/loan outstanding)

	Dec-94				Dec-95				Dec-96										
	ABV	BIDV	BICV	VCOM	OTHERS	TOTAL	ABV	BIDV	BICV	VCOM	OTHERS	TOTAL	ABV	BIDV	BICV	VCOM	OTHERS	TOTAL	
1.State enterprises and others																			
(1)Total	14.3%	3.0%	7.7%	16.5%	3.6%	9.6%	13.9%	3.3%	9.3%	8.7%	3.0%	7.7%	14.9%	4.5%	11.5%	11.8%	4.2%	9.3%	
(2)State enterprises	13.6%	2.9%	8.7%	18.0%	6.1%	9.7%	13.3%	3.1%	6.3%	10.2%	2.5%	6.6%	17.1%	4.3%	8.8%	9.4%	4.9%	7.8%	
(3)Private Sector	15.0%	6.1%	5.3%	9.4%	1.9%	10.3%	14.1%	4.9%	21.6%	1.0%	4.0%	12.7%	13.9%	6.3%	39.1%	19.4%	4.7%	14.9%	
(4)Other sector	9.8%	4.2%	10.1%	5.9%	1.8%	6.0%	15.0%	3.1%	4.9%	2.4%	3.0%	4.0%	19.4%	7.3%	3.2%	22.9%	3.2%	6.0%	

Source State Bank of Viet Nam

表 20 Long-term loan ratio (long-term loan/total loan outstanding)

	Dec-94				Dec-95				Dec-96										
	ABV	BIDV	BICV	VCOM	OTHERS	TOTAL	ABV	BIDV	BICV	VCOM	OTHERS	TOTAL	ABV	BIDV	BICV	VCOM	OTHERS	TOTAL	
1.State enterprises and others																			
(1)Total	26.5%	70.4%	15.2%	29.3%	7.6%	31.5%	32.3%	55.8%	18.5%	33.8%	25.1%	32.5%	35.4%	54.7%	18.3%	33.0%	23.4%	32.2%	
(2)State enterprises	46.2%	72.8%	21.0%	29.5%	7.7%	42.6%	46.8%	60.3%	19.6%	37.1%	18.5%	39.2%	57.6%	59.3%	24.4%	35.5%	27.3%	42.0%	
(3)Private Sector	15.9%	17.3%	7.1%	21.7%	2.8%	12.1%	26.7%	9.5%	21.4%	15.8%	5.5%	20.9%	27.7%	9.8%	23.8%	11.7%	8.5%	22.2%	
(4)Other sector	22.1%	13.9%	14.0%	31.2%	12.4%	17.8%	22.6%	9.2%	13.0%	21.4%	38.7%	28.7%	27.8%	7.3%	9.1%	24.2%	27.3%	20.0%	

Source State Bank of Viet Nam

表 21 Foreign currency loan ratio (foreign currency loan/total loan outstanding)

	Dec-94				Dec-95				Dec-96										
	ABV	BIDV	BICV	VCOM	OTHERS	TOTAL	ABV	BIDV	BICV	VCOM	OTHERS	TOTAL	ABV	BIDV	BICV	VCOM	OTHERS	TOTAL	
1.State enterprises and others																			
(1)Total	18.3%	37.2%	16.4%	66.7%	50.6%	34.6%	19.0%	34.5%	19.8%	62.1%	57.6%	38.0%	20.5%	30.5%	19.6%	53.9%	58.7%	36.7%	
(2)State enterprises	48.0%	38.5%	27.2%	69.6%	66.6%	47.8%	60.5%	37.3%	30.5%	67.3%	80.3%	52.0%	74.8%	33.2%	38.6%	60.9%	75.0%	52.7%	
(3)Private Sector	0.3%	0.5%	2.3%	13.9%	21.2%	3.8%	0.2%	1.7%	2.8%	15.0%	11.8%	3.2%	0.2%	1.5%	3.2%	9.7%	10.3%	2.8%	
(4)Other sector	44.0%	31.9%	9.9%	66.2%	57.7%	43.2%	39.1%	22.1%	9.6%	49.1%	61.1%	45.0%	33.1%	13.5%	4.8%	27.0%	68.0%	38.3%	

Source State Bank of Viet Nam

表 22 Share of each bank in credit

	Dec-94				Dec-95				Dec-96										
	ABV	BIDV	BICV	VCOM	OTHS	TOTAL	ABV	BIDV	BICV	VCOM	OTHS	TOTAL	ABV	BIDV	BICV	VCOM	OTHS	TOTAL	
1. State enterprises and others																			
(1) Total	25.7%	21.1%	23.1%	18.6%	11.6%	100.0%	22.2%	18.4%	20.0%	17.5%	21.9%	100.0%	22.4%	18.0%	19.6%	15.5%	24.5%	100.0%	
(2) State enterprises	14.1%	32.6%	19.7%	25.7%	7.9%	100.0%	11.4%	30.0%	19.9%	25.3%	13.4%	100.0%	10.9%	30.9%	16.6%	23.9%	17.8%	100.0%	
Short-term	13.2%	15.4%	27.1%	31.6%	12.7%	100.0%	9.9%	19.6%	26.3%	26.2%	17.9%	100.0%	7.9%	21.6%	21.6%	26.5%	22.3%	100.0%	
Long-term	15.3%	55.7%	9.7%	17.8%	1.4%	100.0%	13.6%	46.2%	10.0%	23.9%	6.3%	100.0%	14.9%	43.6%	9.6%	20.2%	11.6%	100.0%	
(3) Private Sector	54.6%	2.2%	28.4%	3.0%	11.8%	100.0%	57.5%	5.1%	16.7%	3.4%	17.1%	100.0%	61.0%	5.0%	12.2%	2.3%	19.5%	100.0%	
Short-term	52.2%	2.1%	30.0%	2.7%	13.1%	100.0%	53.3%	5.9%	16.6%	3.7%	20.5%	100.0%	56.7%	5.8%	12.0%	2.6%	23.0%	100.0%	
Long-term	72.0%	3.2%	16.6%	5.4%	2.8%	100.0%	73.4%	2.3%	17.2%	2.6%	4.5%	100.0%	76.0%	2.2%	13.1%	1.2%	7.5%	100.0%	
(4) Other sector	11.5%	2.7%	29.1%	19.8%	36.9%	100.0%	4.9%	1.7%	24.7%	13.5%	55.2%	100.0%	3.9%	1.8%	36.3%	10.9%	47.2%	100.0%	
Short-term	10.9%	2.8%	30.4%	16.1%	39.3%	100.0%	5.3%	2.1%	30.2%	14.9%	47.4%	100.0%	3.5%	2.1%	41.2%	10.3%	42.9%	100.0%	
Long-term	14.3%	2.1%	23.0%	34.8%	25.7%	100.0%	3.8%	0.5%	11.2%	10.1%	74.4%	100.0%	5.4%	0.7%	16.5%	13.2%	64.3%	100.0%	
3. Overall bank credits	23.2%	17.0%	23.1%	24.6%	12.2%	100.0%	20.5%	15.1%	22.9%	19.4%	22.2%	100.0%	20.4%	17.4%	20.0%	17.4%	24.9%	100.0%	

Source: State Bank of Viet Nam

表 23 Share of borrower in each bank

	Dec-91						TOTAL
	ABV	BIDV	BICV	VCOM	OTHS	TOTAL	
1.State enterprises and others							
(1)Total	102.9	114.3	100.4	87.1	100.0	99.5	99.5
(2)State enterprises	80.1	112.9	92.6	84.2	91.8	89.6	89.6
(3)Private Sector	12.8	0.4	3.4	0.0	4.6	4.8	4.8
(4)Other sector	10.0	1.0	4.4	2.9	3.7	5.1	5.1
2.Central Government(net)	-2.9	-14.3	-0.4	12.9	0.0	0.5	0.5
3.Total	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Source World Bank, "Viet Nam, Financial Sector Review", 1995

	Dec-94						Dec-95						Dec-96					
	ABV	BIDV	BICV	VCOM	OTHS	TOTAL	ABV	BIDV	BICV	VCOM	OTHS	TOTAL	ABV	BIDV	BICV	VCOM	OTHS	TOTAL
1.State enterprises and others																		
(1)Total	111.9	125.7	100.9	76.3	95.4	100.9	108.5	122.2	87.0	90.2	98.8	99.9	111.7	105.0	99.4	90.8	99.9	101.5
(2)State enterprises	38.2	120.5	53.6	65.6	40.4	62.7	31.0	111.3	48.5	72.9	33.7	55.8	26.6	95.3	44.4	73.8	38.4	53.6
(3)Private Sector	69.3	3.8	36.2	3.6	28.4	29.4	73.2	8.9	19.0	4.6	20.1	26.0	79.0	7.5	16.1	3.4	20.7	26.4
(4)Other sector	4.4	1.4	11.1	7.1	26.6	8.8	4.3	2.0	19.5	12.6	45.0	18.1	4.1	2.2	39.0	13.5	40.8	21.5
2.Central Government(net)	-10.6	-25.7	0.9	23.7	4.6	-0.2	-8.5	-22.2	13.0	9.8	9.8	2.0	-11.7	-5.0	0.6	9.2	0.1	-1.5
3.Total	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Source State Bank of Viet Nam

表 24 Loan outstanding of four state-owned commercial banks and other banks
(billion dong, %)

		Dec-91	Dec-92	Dec-93	Dec-94	Dec-95	Dec-96
ABV	Short term	2661	3730	4499	5535	6398	8073
	Med, long term	186	276	1613	2303	2918	3840
	Joint-venture	4	3	14	17	260	248
	Total	2851	4009	6126	7855	9576	12161
	growth rate	N.A	40.6%	52.8%	28.2%	21.9%	27.0%
BIDV	Short term	375	475	902	1860	3525	3900
	Med, long term	1055	1565	2823	4516	4411	4454
	Joint-venture	57	57	58	58	58	58
	Total	1487	2097	3783	6434	7994	8412
	growth rate	N.A	41.0%	80.4%	70.1%	24.2%	5.2%
BICV	Short term	2916	3928	5352	5550	6787	8241
	Med, long term	116	262	836	1073	1601	2077
	Joint-venture	0	0	0	0	28	38
	Total	3032	4190	6188	6623	8416	10356
	growth rate	N.A	38.2%	47.7%	7.0%	27.1%	23.1%
VCOM	Short term	1941	3160	3932	4023	4905	5722
	Med, long term	222	434	969	2088	2408	2083
	Joint-venture	29	24	75	126	221	241
	Total	2192	3618	4976	6237	7534	8046
	growth rate	N.A	65.1%	37.5%	25.3%	20.8%	6.8%
Joint stock others	Short term	536	1199	2032	4552	6991	9349
	Med, long term	0	12	94	1101	1544	890
	Joint-venture	11	14	36	104	133	145
	Total	547	1225	2162	5757	8668	10384
	growth rate	N.A	123.9%	76.5%	166.3%	50.6%	19.8%
Total	Short term	8429	12492	16717	21520	28606	35285
	Med, long term	1579	2549	6335	11081	12882	13344
	Joint-venture	101	98	183	305	700	730
	Total	10109	15139	23235	32906	42188	49359
	growth rate	N.A	49.8%	53.5%	41.6%	28.2%	17.0%

Source: State Bank of Viet Nam

表 25 Ratio: Total domestic credit/central bank's credit

	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995
Viet Nam	1.5	1.5	1.8	1.8	2.5	3.2	4.8
China	2.8	2.8	2.9	2.9	3.0	3.5	4.1
Indonesia	4.9	5.9	13.2	21.7	na	na	na
Korea	29.1	47.5	52.1	58.0	60.0	80.2	114.3
Poland	na	na	6.5	3.6	4.0	4.2	8.6
Hungary	1.6	1.6	1.6	1.9	2.1	2.0	na
Japan	20.9	18.9	19.0	19.2	19.4	21.7	21.3
U.S.	32.8	34.1	24.3	18.1	17.6	20.3	23.6

Source: State Bank of Viet Nam; IMF, "IFS"

表 26 International Comparison of M2/GDP (%)

	Viet Nam	China	Myanmar	Indonesia	Philippines	Thailand	Malaysia	Korea	Singapore	Poland	Hungary	Japan	U.S.
1973	na	na	32.2	14.1	30.0	37.3	45.5	40.4	67.8	na	na	123.6	63.6
1974	na	na	23.9	13.2	25.2	35.5	56.9	35.4	63.8	na	na	118.4	62.0
1975	na	na	23.3	15.4	25.0	37.8	67.2	33.4	69.2	na	na	125.0	64.4
1976	na	na	22.1	16.3	25.3	39.3	68.0	32.7	75.1	na	na	128.4	65.4
1977	na	27.3	21.4	15.8	28.7	40.5	68.2	35.4	77.7	na	na	130.5	64.6
1978	na	24.8	23.0	16.2	30.9	39.6	73.4	34.8	78.8	na	na	134.8	61.8
1979	na	33.3	24.2	15.9	28.5	39.9	74.6	34.0	82.4	na	na	138.2	60.3
1980	na	37.4	25.9	16.4	29.1	41.2	80.4	36.4	84.7	63.1	na	140.5	60.5
1981	na	41.4	28.0	17.2	29.9	41.6	88.8	37.1	89.4	72.2	na	146.4	60.1
1982	na	43.6	29.2	18.6	32.4	46.9	102.0	40.9	97.3	48.6	51.8	152.1	64.4
1983	na	46.7	31.8	19.7	34.2	52.6	101.8	39.8	96.8	44.1	49.5	157.3	66.3
1984	na	51.7	34.7	20.9	28.7	59.1	104.0	39.0	95.4	42.0	47.9	158.6	66.6
1985	na	57.0	32.7	24.9	28.8	62.1	118.3	41.2	102.7	41.7	50.3	161.5	68.0
1986	18.5	65.5	40.7	28.0	27.3	65.8	144.3	41.9	89.2	42.6	51.9	168.9	71.5
1987	16.4	70.4	26.3	28.5	27.5	68.0	133.0	44.8	121.5	44.1	50.4	176.7	69.7
1988	16.7	68.3	30.6	31.1	29.1	67.0	127.1	47.7	118.2	41.1	44.2	180.8	68.5
1989	30.5	71.2	24.8	36.8	32.8	70.8	na	54.5	123.8	64.4	43.0	189.5	67.6
1990	27.1	79.0	27.9	45.4	33.9	75.6	na	54.7	123.0	34.1	45.7	188.6	68.3
1991	26.5	85.7	28.6	45.9	34.0	78.3	na	55.8	124.7	32.3	49.3	186.6	68.5
1992	24.6	91.2	33.7	47.9	35.3	80.4	113.2	62.2	125.9	36.5	na	185.6	66.5
1993	23.6	88.2	na	na	41.2	85.3	124.6	69.9	123.0	36.4	na	190.4	64.0
1994	25.3	(85.5)	na	na	(41.2)	(74.2)	(83.9)	(40.6)	(83.6)	(31.7)	(43.4)	(112.1)	(60.5)
1995	23.7	(92.4)	na	na	(45.4)	(73.8)	(85.0)	(40.9)	(82.6)	(31.8)	(43.0)	(112.7)	(59.4)
1996	25.0	na	na	na	na	na	na	na	na	na	na	na	na

Source GSO, State Bank of Viet Nam, World Bank, "World Tables 1995".
Data in the parenthesis are from World Bank, "World Development Report".

ヴェトナムの資本形成統計に関する若干の考察

服部 亮三

株式会社大和総研

1.はじめに

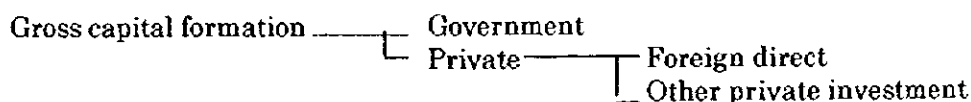
本稿では、ヴェトナムの資本形成を分析するための準備作業として、固定資本形成の諸統計について考察してみたい。

我々が持っているヴェトナムのマクロの投資データは、主だったもので4種類ある。第一は、国際通貨基金 (International Monetary Fund、以下 IMF) によるものである。第二は、ヴェトナム統計総局 (General Statistical Office、以下 GSO) によるもの、第三は、ヴェトナム計画投資省 (Ministry of Planning and Investment、以下、MPI) のもの。そして、第四はヴェトナム財政省 (Ministry of Finance、以下 MOF) のものである。

2.IMF 統計の検討

まず、最初に IMF 統計を見てみよう (第 1 表)。この「国内総資本形成」“gross capital formation”のデータは、IMF の *Recent Economic Developments* 各号の「国内総支出」“Gross Domestic Product by Expenditure Category”統計から取っており、これは SNA¹に基づいて作られている。

それを見ると、下記のように「総資本形成」は「政府投資」“government investment”と「民間投資」“private investment”、後者はさらに「海外直接投資」“foreign direct investment”と「その他」“other private investment”に分類されている。この「政府投資」は、同じ IMF の「財政支出統計」“Functional Classification of Government Expenditure”の中の「政府資本支出」“government capital expenditure”と一致している。また、これは MOF が作成している財政統計の中の政府資本支出の数字ともおおむね合っている (第 2 表²)。



¹ ヴェトナムでは SNA はまだ試行段階であり、その中心は生産統計(GDP)であり、支出統計(GDE)は輸出入差額(Balance of foreign trade)、総資本形成(Gross capital formation)、最終消費支出(Final consumption)が記載されているに過ぎない (GSO(1996a) “Balance of Gross Domestic Product by Sources and Uses” を参照)。分配統計についてはほとんど何も出ていない。かなり細かいデータが採れるのは、実験的に行われた 1989 年のものだけである (Le Van Toan(1992)、参照)。

² MOF の財政統計は作成時期によって数字がかなり振れるが、全く一致する年度があることから、元は同じと推定される (第 3 表、参照)。

IMF の分類に従って動向を見てみよう。投資率（対 GDP 比）は、ドイモイ政策導入後も数年間は緩やかな増加に留まっていたが（11.7% in 1986 → 15.0% in 1991）、1992 年以降急上昇している（27.1% in 1995）。その内訳を見ると、政府投資はおおむね横ばいであり³（5.1% in 1988 → 6.0% in 1995）、上昇分は民間投資（4.9% in 1989 → 21.2% in 1995）、とくに海外直接投資によるもの（1.4% in 1989 → 8.8% in 1995）ということになる。

この表から判断すると、貯蓄率が投資率に追いつかないという重要な問題はあるものの（Savings-Investment balances、第 1 図）、投資に関しては海外直接投資、国内民間投資共に旺盛で、一方、政府投資は抑制され財政赤字削減に貢献しているといった印象を受ける⁴。しかし、これは実態なのだろうか。実は IMF 統計では民間投資に分類されるものの中に政府が関与するものが多くある。この点を第 2 節で検討しよう。

なお、IMF 統計について注意しておかなければならないことがある。同統計では、消費が残済として計算されるが、在庫投資は投資ではなく消費の方に分類されるのである⁵。また、IMF は投資・貯蓄が過少推計されている可能性を指摘しているが⁶、GDP も大きく過少推計されていると思われ⁷、実際の投資率はもっと低いかもしれない。

3.GSO 統計の検討

3.1. 「蓄積基金」 “Construction Funds”

次に、GSO のものを検討しよう。GSO の各種統計では、「国家投資支出」 “State Investment Outlays” が中心概念となっているが、その定義は記されていない。例えば、「統計年報」 *Statistical Yearbook* の “construction” の章は、「国家投資支出」を「種別（構築物・機械設備等）」、「中央・地方政府別」、「生産・非生産部門別」、「産業別」等で分類したものととなっている（GSO(1996a)参照）。その他の GSO の統計も同様である（GSO(1996b)）。

それゆえ、この「国家投資」が GSO 統計の最上位概念かと思われた。しかし、GSO が最近出版したインフラストラクチャーに関する統計書（GSO(1996c)）を見ると、大部分はこれまで通りに「国家投資」の各種内訳を示したもののだが、「経済セクター別実行蓄積基金」 “Implemented construction funds by economic sectors” という表がひとつだけあり、これによると、「実行蓄積基金」は「政府部門」 “State sector” と「非国家部門」 “Non-state sector” に分かれ、この「政府部門」の値が「国家投資支出」と一致する。そして、「実行蓄積基金」はわれわれのいう「総資本形成」と同じではないかと思われる（第 4 表）。そうならば、「国家投資」は「総資本形成」を「国家部門」と「非国家部門」に分けたものの前者に他ならない。

$$\text{Construction funds} \begin{array}{l} \text{---} \text{ State investment} \\ \text{---} \text{ Non-state investment} \end{array} \cong \text{Government investment}$$

その「蓄積基金」の変動を見てみると（第 5 表）、全体の動きは当然のことながら IMF 統計の「総資本形成」と同様である（14.7% in 1990 → 22.4% in 1994⁸）。しかしながら内訳を見ると、IMF 統計とは対照に、上昇を主導したのは「国家部門」であり（6.4% in 1990 → 12.4% in 1994）、

³ 1991 年に政府投資が大きく減少しているのは、財政支出引き締めのためである。93 年はその反動が出た。

⁴ IMF(1996)、“Consumption, saving and investment” は、そのような記述をしている。

⁵ IMF(1996)、Note 9 を見よ。

⁶ IMF(1996)、Note 7 を見よ。

⁷ 古田(1996)を参照。

⁸ 1995 年の値は特に食い違うので、除外して考える。

「非国家部門」の方は微増に留まっている (8.2% in 1990 → 10.0% in 1994)。

つまり、IMF 統計の「政府・民間」government/private の区分と GSO 統計の「国家・非国家」state/non-state の区分は相違する。昨今の投資ブームの中心となっているのは、IMF 統計では「民間部門」に含まれ、GSO 統計では「国家部門」に含まれる主体なのである。それゆえ、次は「国家投資」の中身を見なければならない。

3.1.1. 「グロス」と「ネット」

GSO(1996c)だけで使われている、「蓄積基金」“construction funds”という表現は中国でいう〔蓄積基金 xuji jijin〕と同様の用語法なのだろう⁹。また、ベトナム側は、文書・ヒアリング等で、国家による資本形成を指してしばしば「基本建設」“basic construction”という言い方をするが¹⁰、これも中国でいう〔基本建設投資 jiben jianshe touzi〕¹¹であろう。

しかし、ベトナムの「国家投資」の場合には、内訳に“Value of net increase in fixed assets”というものがあるので（中国でいう〔新增固定資産額 xinzeng guding zichan〕¹²か）、純計概念でなく総計概念ということがわかる。が、その国家投資に占める割合は年々変動が激しく、その正確さには大きな疑問が残る（第5表）。一方、「政府投資」については、その「メンテナンス」が「資本支出」ではなく「経常支出」（経済分類の「その他」、機能分類の「経済サービス」の項）に含まれており¹³、「資本支出」は純投資中心とも考えられる。このように、ベトナムの統計では何が総計概念、純計概念なのかははっきりとは説明されていない。

3.2. 「国家投資支出」 “State Investment Outlays”

GSO 各種統計で「国家投資支出」はかなり以前まで連続して溯ることができることから¹⁴、計画経済に起源を持つ統計であることが分かる。その中身についても、前述のように by type of outlays, by type of management, by kind of economic activities, さらに in industry, in agriculture, in transport, etc.と詳細な数字を提供している（第5表）。しかし、それらを眺めても先ほどの疑問（government/private の区分と state/non-state の区分の齟齬）は解けない。

一方、「非国家部門」“Non-state sector”については、その総額が一箇所出ているだけで（GSO(1996c), P32.）、その中身について諸統計は沈黙している。

GSO の「国家投資支出」と IMF の「政府資本支出」を比較してみよう（第6表）。1988年はほぼ同じであったが、その後乖離が徐々に広がり、最近（1993～1995年）、国家投資支出は政府資本支出の半分程度にすぎない。ここから推測できることは、かつての計画経済期には国家投資支出は全額政府予算でまかなわれた。しかし、移行経済期に入り、徐々に予算外の資金で政府プロジェクトが行われるようになった、これが現在の投資ブームの実態ではないか、ということである。GSO 統計では投資のファイナンス形態はわからない。そこで、次は MPI の統計を吟味しよう。

⁹ 石川(1984)、P23を参照。

¹⁰ 例えば、以下の分を参照。“Before 1995, the investment for basic construction had been implemented by the bank for development.” See, MOF(1997), “Expenditure of the National Investment Assistance Fund.”

¹¹ 石川(1984)、P118等を参照。

¹² 石川(1984)、P98等を参照。

¹³ また、元のインフラ投資を中央政府が、そのメンテナンスを地方政府が担当する例が多い。World Bank(1994)を参照。

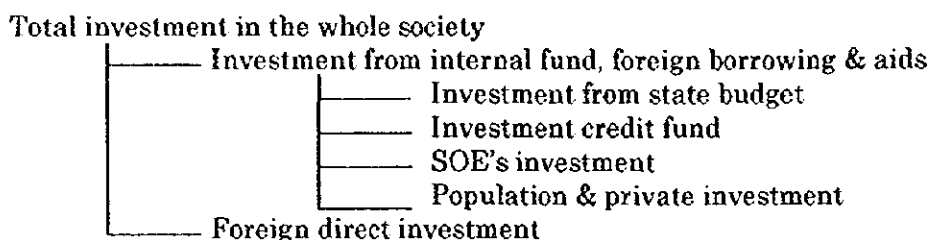
¹⁴ 例えば、GSO(1996a)では1980年から取ることができる。

4.MPI 統計の検討

この MPI 統計¹⁵は5カ年計画に基づいて作成されるもので、計画が終わった後に各年毎のデータを作るので、データの精度には問題がある。

表題の英語訳¹⁶が“Total Investment of the Whole Society”とわれわれの用語法では聞きなれないものであるが、これもやはり中国でいう〔全社会固定資産投資 quanshehui guding zichan touzi〕¹⁷と同様の概念であろうか。それならば、公共セクターの固定資本投資に加え、集団経済の固定資本投資および個人の住宅投資が入り、労働蓄積（後述）は入らないこととなる。しかし、この統計は IMF 統計とは反対に、GDP から消費を控除して作っている¹⁸、残渣としての投資総額の中に（GDP 推計が正しければ）労働蓄積等も含まれることとなる。

この表は、支出勘定(expenditure accounts)に資本調達勘定(capital finance accounts)を接合したような形をしている。総額は総資本形成とおおむね一致する（第4表）。それが、「国内資金、対外借入および援助による投資」と「FDI」に分かれる。前者がさらに「予算」「信用」「国営企業」「人民」に分かれる¹⁹。



○ “Investment from State Budget”

IMF 統計の政府投資（政府資本支出）と同じではないかと考えられる。

○ “Investment credit fund”

これは、全商業銀行貸出を原資とする投資である。MPI 当局者の説明によれば、これには政府からのローンは含まず、対 SOEs のみではなく対民間貸出をも含むとされる。しかし、4 国営銀行の中長期貸出統計から判断すると（第8表参照、数字は大きく違い、また 1995 年のデータは疑わしいが）、大部分は対 SOEs 貸出と見なして良い。

○ “SOE's investment”

これは、国営企業の自己資金およびいくつかの他ソースによる（銀行借入を除く）。具体的には、

「減価償却基金」(Depreciation)。この資金は財政への上納、企業への保持、財政への再集中と揺れ動いてきたが、1994 年末から企業が保持できるようになった。

「税引後利益」(After-tax profits)。税引後内部留保利潤は「生産経営発展奨励ファンド」(Production development fund)、「報奨ファンド」(bonus)、「福利厚生ファンド」(Social welfare fund) に分けられる²⁰。黒字の場合、税引後利益の最低 60% が生産経営発展奨励ファンドとして

¹⁵ この統計は、ヒアリングの際 MPI からいただいたものである。

¹⁶ 原表はヴィエトナム語であったが、項目を先方に逐語訳してもらった。

¹⁷ 小島編(1989)等を見よ。

¹⁸ 投資開発総局でのヒアリングによる。

¹⁹ 管見では、GSO 統計の中にこのような表は見当たらない。しかし、記述からこの分類の概念があることが窺える。“funds, comprising various resources like Government budget, credit, enterprise owned capital, people's contribution and foreign direct investment” in GSO(1996c).

²⁰ “production development fund”は中国でいう〔生産発展基金 shengchan fazhan jijin〕、“bonus”は〔職工奨励基金 zhigong jiangli jijin〕、“social welfare fund”は〔職工福利基金 zhigong fuli jijin〕と同じ概念であろう。

投資に回る。なお、MPI 当局者によると、福利厚生ファンドは病院・幼稚園・文化事業等に使用れ、一部、地方政府に流れるとされる。地方政府に流れる分は「税外税」、いわゆる中国でいう〔撥派 tanpai〕である²¹。

○ “Population and private enterprises”

これは残渣として計算される。そのため、どれだけ住宅投資でどれだけ設備投資なのかはわからない。

○ “Foreign direct investment”

MPI 統計の海外直接投資は IMF 統計のものと同一視しても良いのだろうか。実はこれも違うようである。IMF の FDI 統計（ドルベース）²²と見較べると、MPI 統計の FDI は国内のジョイント・ベンチャー投資分を含み、IMF・GDE 統計の中の FDI はそれを含まないと推測される（第9表）。そして、この国内ジョイント・ベンチャーのほとんどが国営企業である。

さて、GSO 統計の「国家投資」に該当する MPI 統計の項目はあるか。額から推測すると、「政府予算投資」“Investment from state budget”、「銀行融資」“Investment Credit Fund”、「国営企業投資」“SOE’s investment”の3者の合計のようである（第2図、参照）。さらに、前述の FDI のうちジョイント・ベンチャーの国営企業投資分が入っているかも知れない。

もっとも、中国でいう〔国家投資 guojia touzi〕は〔国家予算内投資 guojia yusuannei touzi〕=政府予算投資+銀行借款による投資、であるから MPI 統計でいうと前2者の合計で、国営企業の自己資金による投資が入らない。この点が食い違いが、しかし、元々は財政資金がほとんどを占め、その後移行期に入って他のファイナンス形態が増え始め²³、「国家投資」の概念が徐々に拡大してきたのではないだろうか。

以上、これまでの議論をまとめると、第3図のようになる。影を付けた部分が state investment であり、IMF の government investment よりもはるかに大きい概念であることが分かる。この差の所が昨今の投資活況の実態であり、「市場経済化が進み、民間企業の投資が活発に行われている」と速断することが全くの誤りであることを示している。

5. 統計外の投資

この節では、これまで見てきた諸統計には入っていないものを概観する。

5.1. 農業における資本形成

農業投資には統計に把握されていないものが多くある。農民の自己資金による投資の推計が難しいのは当然であるが、ヴェトナムでは以下のような重要なものがある。



5.1.1. コミュニオンレベルの公共投資

村落レベルの財政は、政府財政統計の中に統合されていない。岩井(1996)は、「合作社と村落

²¹ 中国で企業や農民から強制的な分担金が徴収されていることは良く知られている。小島編(1989)、石川(1997)等を見よ。竹内(1997)の「補論・企業経営における伝統社会的要素の残存について」は、ヴェトナムにおける〔撥派〕問題に詳しく触れた唯一かつ最重要な邦語論文である。

²² 換算の為替レートは不明である。

²³ 国営企業の投資を財政による供与から国営銀行からの融資に切り替える改革(中国でいう〔撥改貸 bogaidai])については、拙稿(1995)、2-2-3「資本支出」の項を参照。

thon の規模が一致」し「合作社が徴税組織であり、村落内の公共事業をになう自治機関である」例を挙げている。それを見ると、変電器購入、道路建設等の公共事業が合作社の支出でなされている。こうした投資も現行の財政統計では包含されていない。

5.1.2. 労働蓄積

「労働蓄積」は集団的な労働力の動員により固定資本形成を行うもので、とりわけ農地の造成、灌漑・排水設備等の農業固定資本形成を行うことが多い²⁴。

ヴェトナムの現行の規定は 1988 年の“Ordinance on Public Service Labour”で、ある一定の年齢の間（男性 18～45 歳、女性 18～25 歳）、年 10 日奉仕することとなっている。だが、地方省では省下で行われた労働蓄積の推定額を持っていない。それゆえ、GSO 各種統計には含まれていないと思われるが、前述のように MPI 統計の population & private investment の中には他と混交したまま含まれている。

5.2. 予算外資金による地方政府の投資

中国でいう〔予算外資金 yusuanwai zijin〕は、地方自治体、国営企業等が独自に管理し、国家計画に組み込まれない財政資金である。ヴェトナムでは 1996 年から大きな動きが出ている。1996 年 9 月の首相決定による「ホーチミン都市開発基金」である²⁵。基金の目的は、ホーチミン市の社会経済インフラストラクチャを発展させるためのプロジェクトに資金を集めることである。登録資本金は市の歳入から出資されるが、それ以外に国内外から債券発行、借款、プロジェクト・ファイナンス等の資金調達が可能となることとなっている。しかし、現在のところまでは目立った活動はしていない。

²⁴ これは中国でいう〔労働積累 laodong jilei〕に当たる。中国については、石川(1984)、小島(1973)を見よ。

²⁵ The prime minister's decision on the formation of the investment in urban development fund for Ho Chi Minh city, No.644/Ttg, Hanoi, September 20, 1996.

参考文献

1. 石川滋(1984)、『中国の国民所得と資本形成』、日中経済協会、東京。(原著は、National Income and Capital Formation in Mainland China - An Examination of Official Statistics, The Institute of Asian Economic Affairs, Tokyo, 1965.)
2. 石川滋(1997)、「市場経済発展促進アプローチ —理論的位置づけと応用—」、海外経済協力基金『開発援助研究』1997 Vol.4 No.1、所収。
3. 岩井美佐紀(1996)、「ドイモイ後の北部ベトナム農村社会の変容 —チャンリエット村合作社の事例を中心に—」、『東南アジア —歴史と文化—』、No.25, 1996、所収。
4. 小島麗逸編(1973)、『中国の経済と技術』、勁草書房、東京。
5. 小島麗逸編(1989)、『中国経済統計・経済法解説』、アジア経済研究所、東京。
6. 竹内郁雄(1997)、「ドイモイ下の国営企業改革 —過程・現状・課題—」、in JICA, The Economic Development of Policy in the Transition toward a Market-Oriented Economy in the Socialist Republic of Vietnam, Phase Two, Tokyo, JICA, (forthcoming).
7. 古田元夫(1996)、『ベトナムの現在』、講談社、東京。
8. General Statistical Office(1996a), Statistical Yearbook 1995, Hanoi, Statistical Publishing House.
9. General Statistical Office(1996b), Impetus and Present Situation of Vietnam Society and Economy after 10 Years of Doi Moi, Hanoi, Statistical Publishing House.
10. General Statistical Office(1996c), Infrastructures of Vietnam in 10 Years of Renovation (1985 - 1995), Hanoi, Statistical Publishing House.
11. International Monetary Fund(1996), Vietnam - Recent Economic Developments, November 21, 1996, Washington D.C., International Monetary Fund.
12. Le Van Toan(1992), Vietnam Economy 1986-1991, Based on the System of National Accounts, Hanoi, Statistical Publishing House.
13. Socialist Republic of Vietnam(1996), Public Investment Program 1996 - 2000 (Approved by the Prime Minister, Decision No.2920/QHQT on 18 June, 1996), Hanoi.
14. World Bank(1994), Viet Nam: Public Sector Management and Private Sector Incentives, An Economic Report, September 26, 1994, Washington D.C., World Bank.
15. World Bank(1996), Viet Nam: Fiscal Decentralization and the Delivery of Rural Services, An Economic Report, October 31, 1996, Washington D.C., World Bank.

表 1 International monetary fund: gross capital formation

	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995
	(In billions of dong at current prices)									
Nominal GDP	512	2469	13266	24308	41955	76707	110535	136571	170258	222840
Gross capital formation	60	270	1906	2817	6350	11506	19498	34020	43375	60488
Government			673	1626	2126	2135	6450	9600	9215	13306
Private			1233	1191	4224	9371	13048	24420	34160	47182
Foreign Direct				334	629	2023	2907	8852	11505	19646
Other private investment				857	3594	7348	10141	15568	22655	27536
	(Share in GDP, in percent)									
Gross capital formation	11.7	10.9	14.4	11.6	15.1	15.0	17.6	24.9	25.5	27.1
Government			5.1	6.7	5.1	2.8	5.8	7.0	5.4	6.0
Private			9.3	4.9	10.1	12.2	11.8	17.9	20.1	21.2
Foreign Direct				1.4	1.5	2.6	2.6	6.5	6.8	8.8
Other private investment				3.5	8.6	9.6	9.2	11.4	13.3	12.4

Source: International Monetary Fund, *Recent Economic Developments*, various issues.

表 2 Government expenditure (billion dong)

	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996
Total Capital Expenditure	2208.2	2122.0	2135.2	8413.0	13018.0	14542.0	15210.0	17368.0
Industry and Construction	766.1	799.2	490.1	3134.0	5591.0	2870.0	6690.0	6700.0
Agriculture, Forestry and Irrigation	200.3	333.7	367.1	922.0	1169.0	1970.0	1963.0	3110.0
Transportation and Communications	196.5	399.0	507.9	1180.0	1808.0	3198.0	3570.0	4498.0
Commerce and Services	47.5	47.8	28.8	962.0	1691.0	1833.0	1162.0	2164.0
Non-Productive Sector	410.8	533.3	737.1			1600.0	1673.0	696.0
Contingency Fund								200.0
Other	587.0	9.0	4.2	2215.0	2759.0	3071.0	152.0	

Source: Ministry of Finance

表3 The comparison among statistics of government capital formation (billion dong)

	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996
IMF	1626	2126	2135	6450	9600	9215	13306	
MPI		2237	2604	8098	11846	10963	13500	
MOF (1)	2208.2	2122.0	2135.2	8413.0	13018.0	14542.0	15210.0	17368.0
MOF (2)			2135	6450	9600	11300	11460	14900

Notes

1) MOF, "Government Capital Expenditure"

2) MOF, "Expenditure of the National Investment Assistance Fund"

Source IMF, MPI and MOF.

表4 The comparison among gross capital formation, construction funds and total investment of the whole society

		1990	1991	1992	1993	1994	1995
IMF	Gross Capital Formation (a)	6350	11506	19498	34020	43375	60488
GSO	Construction Funds (b)	6150.7	9933.9	18430.7	29751.5	38141.8	41500.0
MPI	Total Investment of the Whole Society (c)	6747	11884	21608	34655	49483	58800
	(b) / (a)	0.97	0.86	0.95	0.87	0.88	0.69
	(c) / (a)	1.06	1.03	1.11	1.02	1.14	0.97

Source General Statistical Office, Ministry of Planning and Investment and International Monetary Fund

表5 GSO: Construction funds and state investment outlays

	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995
Nominal GDP	512	2469	13266	24308	41955	76707	110535	136571	170258	222840
Construction Funds					6150.7	9933.9	18430.7	29751.5	38141.8	41500.0
State sector	30.8	118.2	668.5	1919.8	2703.7	4503.9	7566.4	16751.5	21141.8	21500.0
Non-state sector					3447.0	5430.0	10864.3	13000.0	17000.0	20000.0
(Share in GDP, in percent)					14.7	13.0	16.7	21.8	22.4	18.6
State sector	6.0	4.8	5.0	7.9	6.4	5.9	6.8	12.3	12.4	9.6
Non-state sector					8.2	7.1	9.8	9.5	10.0	9.0
<hr/>										
State Investment Outlays	30.8	118.2	668.5	1919.8	2703.7	4503.9	7566.4	16751.5	21141.8	21500.0
By type of outlays										
Construction and assembly works	22.5	88.4	501.1	1334.4	2044.1	3007.2	5386.6	9873.9	13318.9	
Machinery and equipment	4.5	17.9	103.6	332.6	396.8	1140.8	1425.4	5041.4	5283.8	
Others	3.8	11.9	63.8	252.8	262.8	355.9	754.4	1836.2	2539.1	
By type of management										
Central	18.2	69.4	429.6	1348.2	1694.2	2705.8	4956.3	12238.4	12345.8	12285.0
Local	12.6	48.8	238.9	571.6	1009.5	1798.1	2610.1	4513.1	8796.0	9215.0
By sectors										
Material productive sector	25.0	94.4	572.5	1623.2	2119.7	3737.0	6390.9	14713.5	15571.2	15835.6
Non-material productive sector	5.8	23.8	96.0	296.6	584.0	766.5	1175.5	2038.0	5570.6	5664.4
Value of net increase in fixed assets	13.2	61.4	277.9	952.4	1806.2	2310.9	3693.4	7739.1	16245.7	
(Share in GDP, %)	2.6	2.5	2.1	3.9	4.3	3.0	3.3	5.7	9.5	
(Share in State Investment Outlays, %)	42.9	51.9	41.6	49.6	66.8	51.3	48.8	46.2	76.8	

Sources: General Statistical Office(1996a), do.(1996b) and do.(1996c).

表 6 The comparison between government capital formation and state investment outlays

	(billion dong)							
	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995
Government capital formation	673	1626	2126	2135	6450	9600	9215	13306
State investment outlays	668.5	1919.8	2703.7	4503.9	7566.4	16751.5	21141.8	21500
The ratio between the both	1.01	0.85	0.79	0.47	0.85	0.57	0.44	0.62

Sources General Statistical Office and International Monetary Fund

表 7 Ministry of Planning and Investment: *Total Investment of the Whole Society*

	(billion dong)						
	1990	1991	1992	1993	1994	1995	
Total investment	6747	11884	21608	34655	49483	58800	
Investment from internal fund, foreign fund, foreign borrowing and aids	5757	9964	16308	24655	30563	40100	
Investment from state budget	2237	2604	8098	11846	10963	13500	
Investment credit fund	300	1060	636	2391	3200	6000	
SOE's investment	420	1300	574	2418	2000	5600	
Population and private enterprises	2800	5000	7000	8000	14400	15000	
Foreign direct investment	990	1920	5300	10000	18920	18700	

Source Ministry of Planning and Investment.

The original table is in Vietnamese. Translated by MPI officials.

表 8 Amount of Outstanding Loan (medium and long term)

		1991	1992	1993	1994	1995
		(Outstanding)				
BIDV	State enterprises	1055	1585	2823	4516	4411
	Private enterprises					
	Private farmer households	5	10	10	15	30
	Other individuals					
	Others					
	Total	1060	1595	2833	4531	4441
		(Outstanding)				
BFTV	State enterprises	181	391	844	2036	2339
	Private enterprises		22	23	52	17
	Private farmer households					
	Other individuals					
	Others					52
	Total	181	413	867	2088	2408
		(Outstanding)				
ICBV	State enterprises	102	215	628	788	938
	Private enterprises	12	14	61	108	260
	Private farmer households					
	Other individuals	2.2	33.2	44	177	403.5
	Others					
	Total	116.2	262.2	733	1073	1601.5
		(Outstanding)				
VBARD	State enterprises	58	68	508	1236	1318
	Private enterprises	9	17	21	21	48
	Private farmer households	7	61	369	521	1047
	Other individuals	112	130	418	525	505
	Others					
	Total	186	276	1316	2303	2918
		(Outstanding)				
4SOCBs	State enterprises	1396	2259	4803	8576	9006
	Private enterprises	21	53	105	181	325
	Private farmer households	12	71	379	536	1077
	Other individuals	114.2	163.2	462	702	908.5
	Others	0	0	0	0	52
	Total	1543.2	2546.2	5749	9995	11368.5
		(Flow)				
4SOCBs	State enterprises		863	2544	3773	430
	Private enterprises		32	52	76	144
	Private farmer households		59	308	157	541
	Other individuals		49	298.8	240	206.5
	Others		0	0	0	52
	Total		1003	3202.8	4246	1373.5

Source State Bank of Viet Nam

表 9 The Comparison of Statistics of Foreign Direct Investment(In billions of dong / dollar)

		1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995
MPI	(dong)		990	1920	5300	10000	18920	18700
IMF (1)	(dong)	334	629	2023	2907	8852	11505	19646
IMF (2)	(dollar)				463	1002	1500	2000
IMF (3)	(dollar)				260	832	1048	1780

Source MPI & IMF(1996)

Notes

1) FDI in GDE

2) Total Distribution of FDI including investment by domestic joint-venture partners

3) Total Distribution of FDI excluding investment by domestic joint-venture partners

图1 Savings-Investment balances

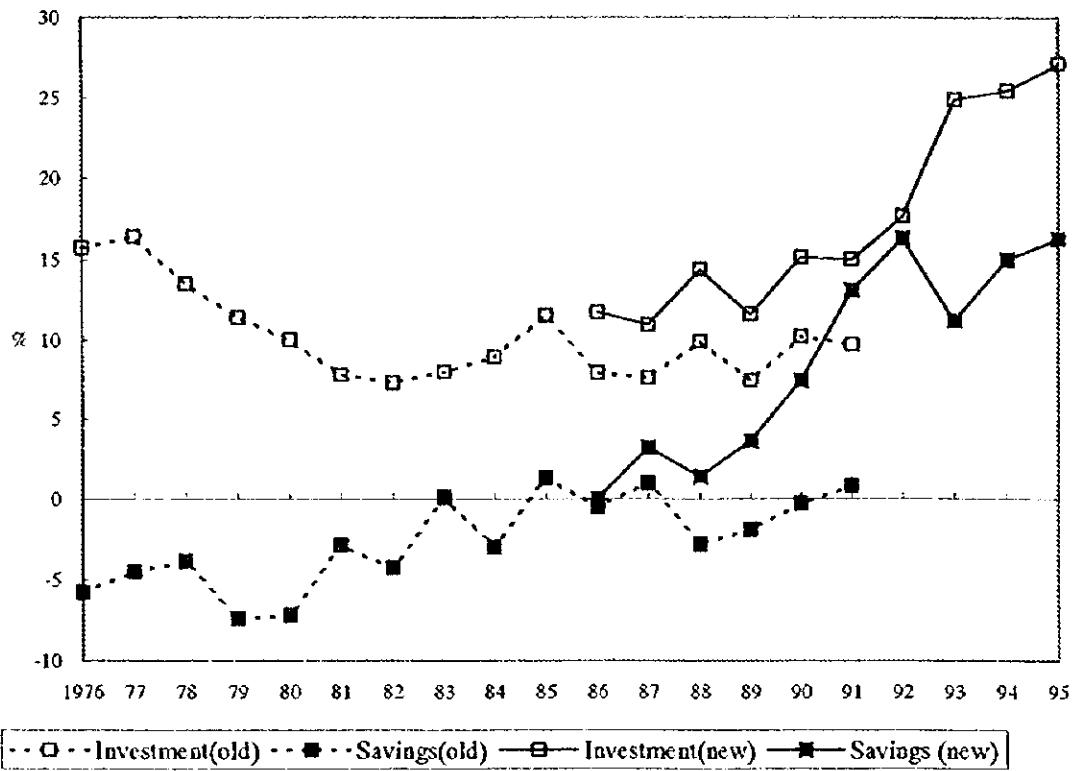


图2 State investment and its finance (billion dong)

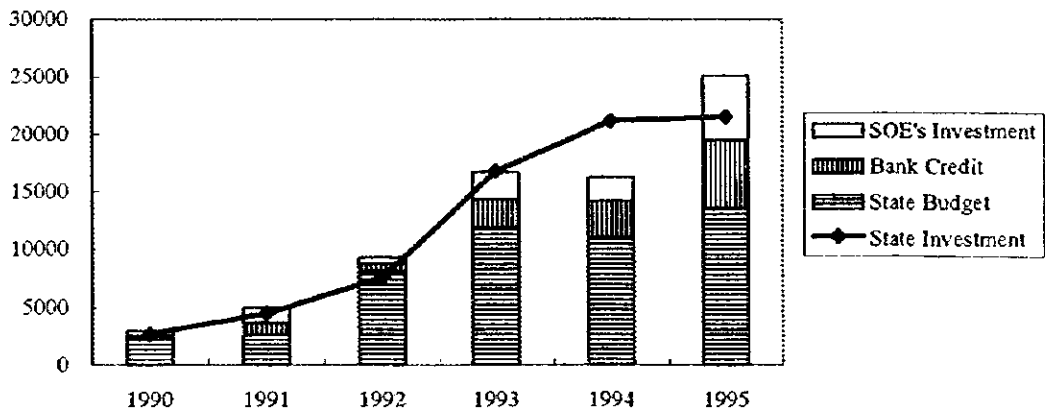


图3 The Relation among Statistical Tables on Capital Formation

General Statistical Office	Ministry of Planning & Investment	International Monetary Fund
Implemented Construction Funds	Investment from State Budget	Government
State Investment Outlays (Government Construction Funds)	Investment from Internal Fund, Foreign Borrowing & Aids	Gross Capital Formation
Non-State	Investment Credit Fund	Private
State	SOE Investment	Other Private Investment
Non-State	Population & Private Investment	FDI
Non-State	FDI including investment by domestic joint-venture partners	FDI

Source Written by the author.

ヴェトナムにおける金融セクターの現状

斎藤 英人

株式会社大和総研

以下に述べる内容は、基本的にヴェトナムの中央銀行、国営商業銀行、株式銀行、合併銀行、外銀支店といった各種金融機関、国営企業及び民間企業等に対するヒアリング、及び当調査のカウンターパートであるヴェトナム側のコンサルタントに委託し入手した各種情報・データに基づいて記載されている。

入手したデータは必ずしも全ての金融機関をカバーするものでなく、また、一部入手不可能なデータや一部整合性を欠くデータも見られるが、上記の情報・データにより、ヴェトナムの金融セクターの現状、特に預金や融資の動向についての全体的な傾向の把握が可能である。

1.金融機関の概要

1.1.各種金融機関の発達

1988年には中央銀行の一部門が分離され農業銀行と工商銀行が国営特殊銀行として設立され、中央銀行機能と商業銀行機能を分離する二層銀行制度が導入された。1990年には「中央銀行法」と「銀行・信用組合・金融会社に関する法律」が制定され、これに基づき国営商業銀行、株式銀行、合併銀行、外国銀行支店など異なる形態の金融機関が誕生している。

現在、ヴェトナムの金融制度は、以下の金融機関から構成されている（表1参照）。

- － 4 国営商業銀行 (State-owned commercial banks)
- － 52 株式銀行 (Joint-stock banks)
- － 4 合併銀行 (joint-venture banks)
- － 22 外国銀行支店 (Foreign bank branches)
- － 82 信用組合 (Credit cooperatives)
- － 826 人民信用基金 (People's credit fund : PCF)
- － 2 金融会社

かつて農村の信用組合は全国で7500存在したが、1990年には160程しか機能しておらず、中央銀行はカナダのケベックの信用組合をモデルに、コミュニオンをベースにした共同組合型の金融機関であるPCF（人民信用基金）を93年に実験的に創設した。PCFは96年末にはその数826、融資残高約1000 billion VNDと急速に拡大している。PCFの預金・融資金利は農業銀行とも比べて高いが、手続きが簡単と言われる。これに対して、信用組合の資産は増加していないようである。

表1 Structure of the financial system (1996)

Institutions	Assets	Number	Branches	Capital & Reserves
Central bank:				
State Bank of Viet Nam	77,403 billion VND		53	1,005 billion VND
Commercial Banks	86,203 billion VND			6,237 billion VND
1. State-owned banks	66,005 billion VND			3,279 billion VND
Foreign Trade Bank	21,213 billion VND		20	850 billion VND
Bank for Agriculture and Rural Development	17,219 billion VND		760	1,000 billion VND
Bank of Investment and Development	12,456 billion VND		54	765 billion VND
Bank of Industry and Commerce	15,117 billion VND		60	664 billion VND
2. Other reporting banks	20,198 billion VND	24		2,958 billion VND
a. Joint-Stock banks				(Minimum capital)
Urban		32		1,145 billion VND
Rural		20		24 billion VND
b. Joint-venture banks		4		USD 65 million
c. Foreign bank branches		22		USD 350 million
Others				
3. Credit cooperatives		82		
4. People's Credit Funds (licensed)		826		
5. Finance companies		2		20 billion VND

Source State Bank of Viet Nam

1.2. 金融機関のシェア

1.2.1. 預金シェアの推移

93年から96年にかけて主な金融機関の預金、融資に占めるシェアの変化は以下の通りである(表2参照)。

4国営商業銀行全体の預金シェアは、91%(1991)から76%(1996)に低下している。株式銀行の預金シェアは、6%(1993)から10%(1996)に増加している。多くの株式銀行では信用度の違いから国営商業銀行よりも高い預金金利をつけて預金を動因していると言われる。外銀の預金シェアは、外銀支店の増加を反映して、2%(1994)から8%(1995)、11%(1996)へと95年以降大幅に増加している。外国銀行には融資顧客でない者からのドン預金は銀行資本の25%までしか受け入れられない規制が設けられているが、多くの外銀では大きな制約とはなっていない模様。

表 2 Deposit and loan shares of financial institutions

	1993	1994	1995	1996
Total deposits	100%	100%	100%	100%
1)State-owned commercial banks	91%	88%	80%	76%
Agribank	27%	26%	23%	22%
Incombank	27%	24%	20%	20%
BIDB	16%	22%	19%	18%
Vietcombank	21%	16%	18%	16%
2)Joint-stock banks	6%	8%	9%	10%
3)Joint-venture banks	1%	2%	3%	3%
4)Foreign banks (branches)	2%	2%	8%	11%
5)Others	-	-	-	-
Total loans	100%	100%	100%	100%
1)State-owned commercial banks	89%	85%	75%	74%
Agribank	18%	18%	17%	17%
Incombank	29%	33%	31%	25%
BIDB	6%	4%	3%	8%
Vietcombank	36%	30%	24%	24%
2)Joint-stock banks	7%	11%	15%	14%
3)Joint-venture banks	1%	2%	3%	5%
4)Foreign banks (branches)	3%	2%	7%	7%
5)Others	-	-	-	-

Source State Bank of Viet Nam

1.2.2. 融資シェアの推移

国営商業銀行全体の融資シェアは、89%(1993)から74%(1996)に低下している。一方、株式銀行の融資シェアは、7%(1993)から15%(1995)へと増加しているが、96年には14%(1996)へと若干低下している。最近では、多くの株式銀行が不良債権問題に直面していると言われ、その原因として経営のまずさを指摘する声も聞かれる。外銀の融資シェアも、支店数の増加を反映して3%(1993)から7%(1995)へと95年以降上昇している。外銀の活動は、主に海外から資金を調達し、主に多国籍企業、合弁企業に対する融資(外貨)が大半と言われる。この背景には、ドンの調達が困難であること、企業情報欠如等の理由から国内企業への融資は困難であるという重大な事情がある。そのため、多くの外銀での取引対象は、多国籍企業の他は、限られた国営企業、4国営商業銀行、限られた株式銀行に限定されてしまうが、融資顧客の開拓に積極的な外銀もみられた。また、96年秋以降、外銀及び合弁銀行では、新規の融資について土地の使用権が担保に取れなくなっている。

2. 預金動員の現状

2.1. 預金の動向

グラフ1は銀行の預金残高の推移を見たものである。集計対象となった銀行数は93年以前は20銀行、94年以降は28銀行(4国営商業銀行、3合弁銀行、7外国銀行、14(都市部)株式銀行)であるが、これらの銀行はヴェトナムの金融機関で圧倒的なシェアを占めていると考えられ、全体的な傾向を見る上で殆ど支障にならない。グラフ1によれば93年以降インフレが低下

するなかで、預金総額は94年から96年にかけて大幅に増加している。特に96年には銀行預金の金利が4回引下げられたにも拘わらず、預金残高は大幅に増加している。

グラフ2は全預金に占めるドン預金(Dong deposit)の割合を見たものである。全国営商業銀行におけるドン預金の割合は91年の39%から96年の75%へと大幅に増加している。一方、その他の銀行ではドン預金の占める割合が増加してはいるものの、96年末で50%である。

現在、預金金利について直接の規制は設けられてはいないが、上限融資金利が定められ、融資金利と預金金利の利鞘を0.35%/月以内に収めなければならないスプレッド規制があるため、銀行独自の戦略に則った預金金利設定には一定の制約がある。

表3は国営商業銀行別に預金の状況(1996年末)を見たものである。各国営商業銀行の預金の特徴を挙げると、以下のとうりである。

農業銀行(Agribank)

農業銀行では、預金の71%が個人からの預金である。預金の73%が定期預金(time deposit)で、また、預金の殆どがドン預金である。農村部を中心に広範な預金収集窓口(約2,600箇所)を敷いているため地方での預金動員が多く、都市(ハノイ、ホーチミン市)での預金動員の割合は22%と低い。

投資開発銀行(BIDV)

投資開発銀行では、国営企業・個人からの預金の割合が低く、民間企業を含めたその他の部門からの預金動員が大半である。預金の71%が当座預金で、また、預金の8割がドン預金で、都市部からの預金動員の割合は28%である。

工商銀行(Incombank)

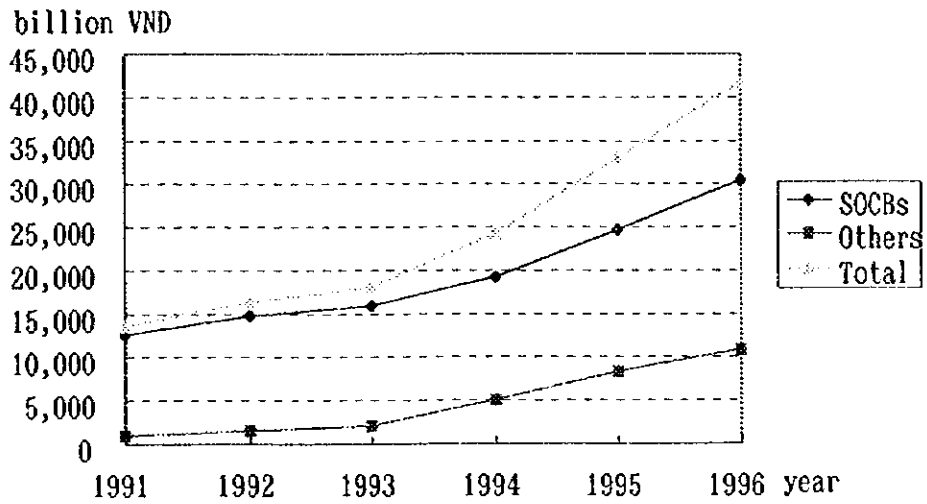
工商銀行では、個人からの預金の割合が39%、国営企業からの預金が31%である。預金のうち91%がドン預金である。近年、支店以外にtransaction office等と言った預金収集窓口(支店を含めて約800箇所)を都市部を中心に増やしており、ハノイ、ホーチミン市での預金動員は全預金の49%である。

外国貿易銀行(Vietcombank)

外国貿易銀行では、国営企業からの預金の割合が41%と国営商業銀行のなかで最も高い。預金の約3分の2が当座預金で、また、預金の53%がドン預金である。外国貿易銀行の支店数は少なく、また、預金顧客である国営企業が都市にあるため、都市部での預金動員の割合は84%と相対的に高い。

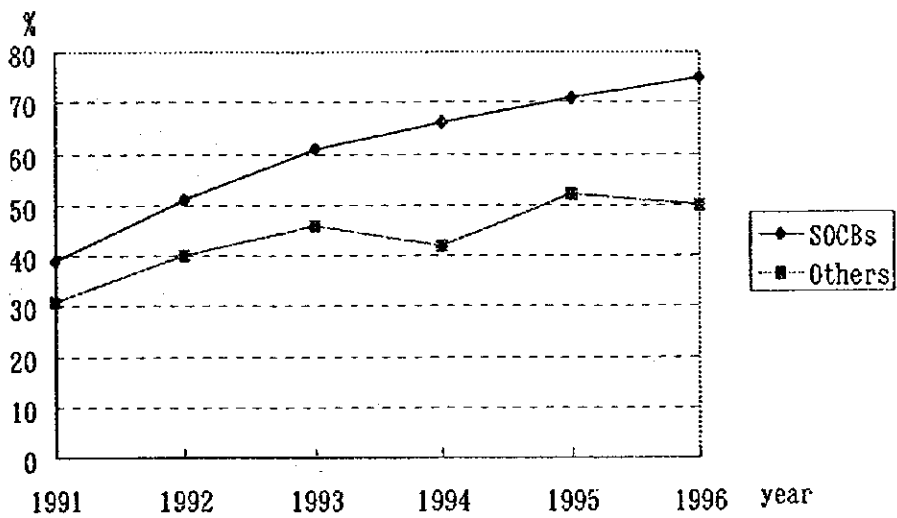
なを、国営商業銀行債券発行による資金調達も92年以降行なわれており、工商銀行、農業銀行では個人からの貯蓄動員の主要な手段の一つとなりつつある。しかし、債券の償還期間は殆どが短期であり、また、債券を自由に売買できる流通市場もなく、長期資金の調達というよりは預金の代替にすぎない。

图 1 Deposit trend



Source State Bank of Viet Nam

图 2 Percentage of dong deposit



Source State Bank of Viet Nam

表3 Deposit at State-owned commercial banks (Dec. 1996)

	Agribank	BIDV	Incombank	Vietcombank
Total deposit (billion VND)	4,171	3,030	8,892	9,978
(by type of depositors)				
State-owned enterprises	22%	5%	31%	41%
Individuals	71%	8%	39%	27%
Others	7%	87%	30%	33%
(by term of deposits)				
Demand deposit	27%	71%	53%	64%
Time deposit	73%	29%	47%	36%
(by currency of deposits)				
Dong deposit	94%	81%	91%	53%
Foreign deposits	6%	19%	9%	47%
(by regions)				
Total	100%	100%	100%	100%
North	51%	48%	45%	55%
(Hanoi)	11%	12%	19%	51%
Middle	12%	22%	11%	6%
South	37%	30%	44%	40%
(HCM City)	10%	16%	30%	33%
Deposit taking places	2,600	120	800	43
Total bonds (billion VND)	3,115	320	3,149	371

Source State Bank of Viet Nam

2.2.銀行に対する信頼

ここ数年、預金が大幅に増加しているが、これはインフレ率の低下、ドンのドルに対する為替の安定に加えて、国民の銀行に対する信頼度が高まった結果によるものであろうか。銀行関係者からはインフレの低下、決済・ネットワーク等の改善により、以前よりも銀行に対する信頼が回復しており、人々はこれまでは手元に置いていた現金を今では銀行に預けるようになったという話を聞くことが多い。ベトコンバンクでは、外貨預金受入の際に資金の出所を聞く等、手続が複雑であったが、数年前に預金を増やすために資金の出所を聞くのを止め、預金預入の手続を簡単になっている。インコムバンク、アグリバンクでは、近年、transaction office と言った預金収集窓口を増やすことにより、預金者の利便性が向上し、その結果、資金動員が容易となっている。

各国営商業銀行は自行で独自のコンピュータ・ネットワーク、送金システムが整備・改善されており、同一行内でのネットワークがカバーしている支店間の送金は一日以内で可能になり、利便性が向上している。ただし、ある銀行から他の銀行への送金、いわゆる銀行間送金では整備が進んでおらず大きな課題である。また、預金の引出にかかる時間も従来に比べて短くなってきている。さらに、国営商業銀行では、ここ数年、個人口座の導入を進めている。

ヴェトナム側の協力を得て実施した国営商業銀行の預金者約 50 人に対するアンケート調査結果(参考資料1)を見ても、以下のとおり、銀行に対する信頼度は改善している。

- ・ 3年前と比べて、銀行の利用頻度は増え(58%)、銀行預金の残高もかなり増えている(28%)。
- ・ 年収の約10%を預金に回し(33%)、また、金融資産(現金、ドル、預金、金(gold))のうち50%超を預金に回す(24%)という回答が最も多い。
- ・ 今、十分な金があればドン預金をする(45%)という回答が最も多い。
- ・ 現在利用している銀行を選んだ主な理由としては、国営銀行故に信頼できる(77%)、元利金が安全(43%)、商品の金利が高い(33%)、自宅・職場から近い(31%)を挙げている。

- ・預金者の多くが現在利用している銀行に満足しており（92%）、具体的に銀行に満足している点として、早い事務処理（45%）、預金金利が高い（36%）、親切な対応（34%）を挙げている。
- ・一方、銀行がさらに改善すべき点としては、手続きが複雑（50%）、預金引出に時間がかかる（35%）、事務処理が遅い（25%）、行員の対応が横柄（25%）を挙げている。
- ・3年前と比べて、銀行のサービスは改善し（96%）、また、一般大衆の銀行に対する信頼度も改善している（88%）。

一方、以上の話とは反対に、国民は依然として銀行を信用していないと言った話を、民間企業、株式銀行、外銀、個人等に対するインタビューのなかで聞くことが多い。そらく、銀行をこれまでに利用したことがない人や、かつて信用組に預金をしその信用組が倒産した苦い経験を持つ人も多く、依然として銀行に預金をしようとしなない人が多いのも現実のようである。こうした点を考え合わせると、国民の国営商業銀行、株式銀行等の国営商業銀行以外の銀行に対する信頼度には差があるように推測される。最近では、外国貿易銀行ホーチミン支店が不正に関与していた大事件が発覚しており、この事件を契機に国民の銀行に対する厳しい目が向けられつつある。これらの点に関連して、現在、ヴィエトナム側の協力を得て、約1800世帯を対象に家計調査を実施し、各世帯の経済調査をベースにインフォーマル・セクターの利用、貯蓄を含む貯蓄動向の変化を調査している段階であり、その調査結果が待たれるところである。

3.銀行融資の現状

3.1. 融資の動向

3.1.1. 国営商業銀行での融資状況

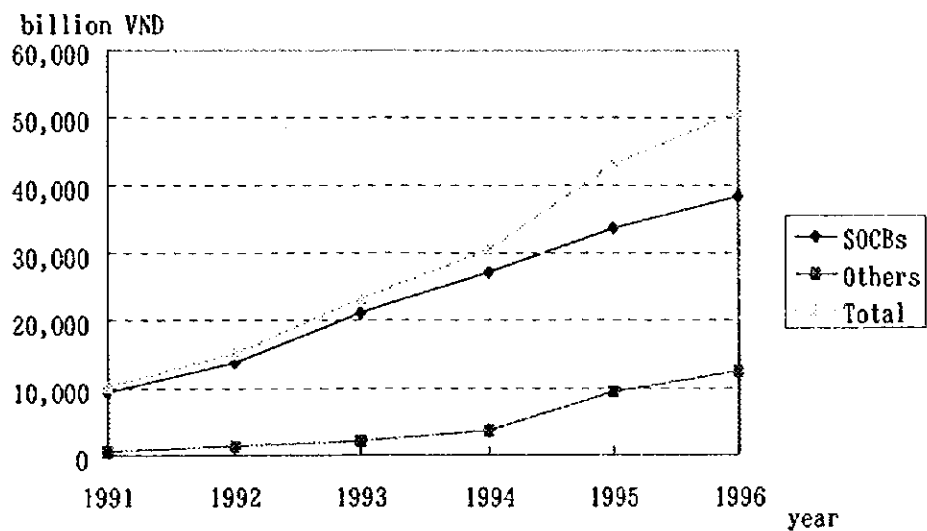
- ・グラフ3は銀行の融資残高の推移を見たものである。91年以降、金融機関の融資残高は急速に増加しているが、96年には銀行の上限融資金利が4回も引下げられたにも拘わらず、96年末には融資残高の伸びは鈍化している。特に、最近では不良債権（bad debt）に対する責任を追及する動きがあると言われており、これが銀行側の貸し渋りの大きな要因の一つとなっている。
- ・グラフ4は融資先の割合を見たものである。融資残高に占める国営企業への融資割合は91年の90%から96年の53%へと低下してきている。これに対して、融資残高に占める民間セクター（個人、自営業）への融資割合は過去4年間概ね25%超で推移しており大きな変化は見られないが、合併企業、株式会社が含まれる「その他セクター」への融資割合は94年以降上昇している。
- ・グラフ5は融資に占める短期、長期融資の割合を見たものである。短期融資の割合は91年の85%から低下し、過去3年間は概ね70%弱の水準に留まっている。
- ・表4は、国営商業銀行別に融資の状況（1996年末）を見たものである。各国営商業銀行の融資の特徴を挙げると、以下のとおりである。
- ・農業銀行では融資の71%が個人農家向け融資であり、短期融資が融資の65%を占めている。また、融資の80%がドンでの融資である。地域的には農村地域での融資が殆どで、セクター別に見ると、農業分野への融資が65%と多い。
- ・投資開発銀行では融資の91%が国営企業向けの融資であり、長期融資の割合は55%と国営商業銀行のなかで最も高い。地域的に見ると、北部、中部での融資割合が高い。セクター別に見ると、商業、工業への融資が多い。

- ・ 工商銀行では民間企業、個人への融資割合が高い。融資の82%が短期融資で、また、融資の80%がドンによる融資である。地域的には都市での融資割合は約50%と高く、特にホーチミン市での融資割合が高い。セクター別にみると、工業、商業への融資が多い。
- ・ 外国貿易銀行では融資の81%が国営企業向けであり、個人への融資割合は極めて少ない。融資の67%が短期融資であり、また、外貨預金の割合は54%と他の国営商業銀行よりも高い。外国貿易銀行の支店数は少なく、また、融資顧客である国営企業が都市にあるため、都市での融資割合が59%と高い。セクター別に見ると、建設、輸送、通信分野への融資割合が他の国営商業銀行に比べて高い。

3.1.2. 長期融資の特徴

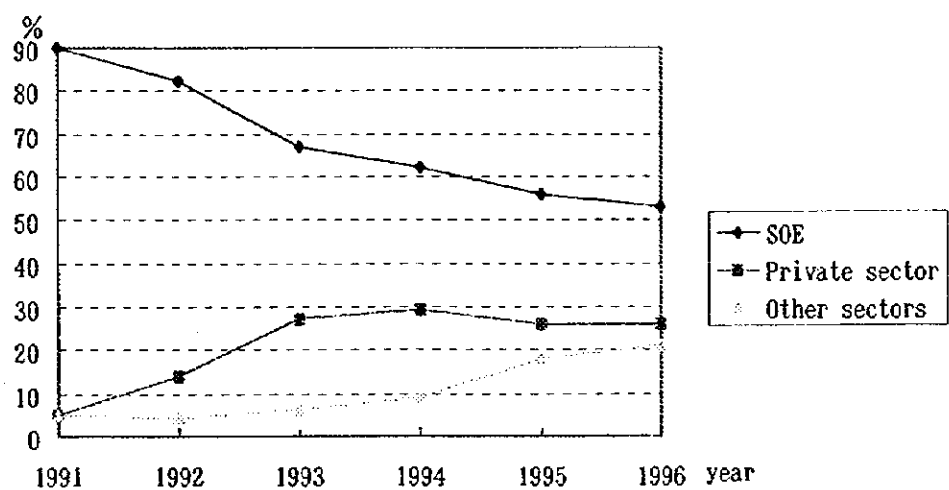
- ・ ヴィエトナムの金融機関全体の長期融資の特徴として、長期融資に占める外貨建融資の割合（58%、96年末）が、短期融資に占める外貨建融資の割合（同26%）よりも高い、また、国営企業に対する長期貸付の割合（同42%）が、民間企業に対する長期融資の割合（同22%）よりも高いことが指摘できる。
- ・ なを、外貨貸付、LCの発行に関して、昨年中旬以降、規制が強化されている。まず、外貨貸付は外国からの機会設備・原材料の輸入の代金決済に限定する、外貨で貸して金利差を利用して利益を得ることは厳しく禁止されている、ユーザンス信用状の発行を抑制するよう中央銀行総裁から指示（96.6.6）が出されている。この背景には、外貨建てローンが必要以上に国内企業に提供されているために、ドン建てローンの需要が抑制されているという認識を中央銀行が持っていたようである。
- ・ LCの発行は95年は容易であったが、96年6月には消費財の輸入を抑制する目的で、LCについての規制が強化された。具体的には、消費財及び国内で作られる商品の輸入に関してLCを発行する場合には、銀行はその80%の預金を取らなくてはならない、また、肥料、ガス、セメント等原料の輸入の場合には、銀行は一定の預金を取ることができるなどを内容とするの通達（96.6.6、Circular 06/NH7-CT）、及び指導（96.8.5）が出されている。こうした規制により、国営商業銀行もLC発行に慎重になった。
- ・ すでに発行された deferred payment LCについては、今年5月の政府の最終決定によると、①企業が代金を支払えなくて銀行が企業に代わり支払う場合には、銀行は企業との間で新たな融資契約を強制的に締結しなければならないが、その際、相手先が国営企業である場合には担保は不要である、②その際、一企業に対して自己資本の10%を越えて融資できないという銀行に対する規制は解除されることになっている。

☒ 3 Bank loan trends



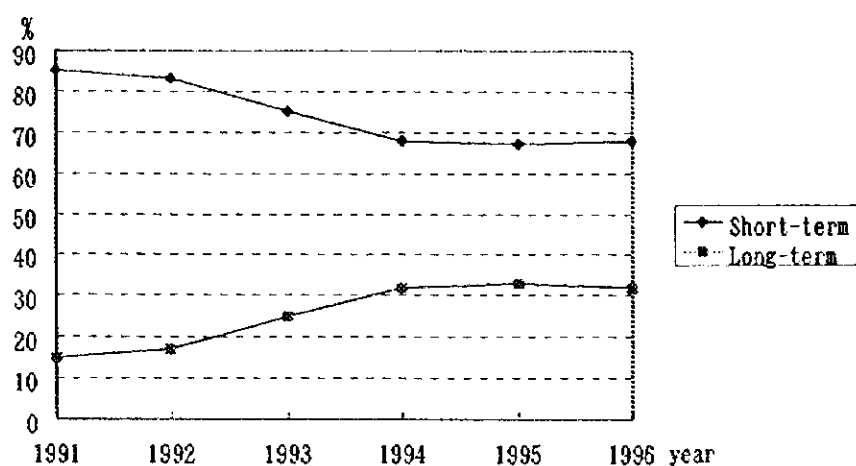
Source State Bank of Viet Nam

☒ 4 Percentage of borrowers



Source State Bank of Viet Nam

图 5 Percentage of short- and long-term credit



Source State Bank of Viet Nam

表 4 Credit at state-owned commercial banks (1996)

	Agribank	BIDV	Incombank	Vietcombank
Total credit (billion VND)	11,368	9,121	9,955	7,874
(by type of borrowers)				
State-owned enterprises	26%	91%	45%	81%
Individuals	71%	7%	16%	4%
Others	4%	2%	39%	15%
(by term of credit)				
Short-term credit	65%	45%	82%	67%
Long-term credit	35%	55%	18%	33%
(by currency of credit)				
Dong deposit	80%	70%	80%	46%
Foreign currencies	20%	30%	20%	54%
(by regions)				
Total	100%	100%	100%	100%
North	44%	48%	45%	39%
(Hanoi)	3%	8%	19%	33%
Middle	17%	26%	11%	27%
South	40%	26%	44%	34%
(HCM City)	6%	10%	30%	26%
(by sector of borrower)				
Total	100%	100%	100%	100%
Industry	5%	26%	37%	24%
Construction	3%	8%	9%	11%
Commerce	18%	28%	34%	33%
Transportation	4%	5%	7%	12%
Telecommunication	1%	5%	7%	9%
Agriculture	65%	15%	-	5%
Others	4%	13%	6%	6%

Source State Bank of Viet Nam

3.2. 企業が抱える問題

企業の資金ニーズが強い反面、銀行からの融資を希望する多くの企業自身でも多かれ少なかれ、以下のような問題点を抱えている。

- ・ 企業自身が保有する自己資本の額が少ない。
- ・ 資金需要が旺盛であるが、融資を受けるための担保がない。
- ・ 短期資金しか借りられないので、長期投資が困難である。そのため、短期資金を借りて中長期資金に充てている。
- ・ 以前とは違って融資手続が厳格になり、銀行から担保のために多くの書類が要求されるようになった。
- ・ 銀行からは担保価値の 80%まで融資を受けることができるが、銀行による担保評価が厳しくなり担保資産の評価額が低く（約 50%）設定されるため、実際には担保資産の 50%程度しか借りられない。その結果、事業を縮小せざるを得ない状況も生まれている。
- ・ 投資加熱を抑えることを意図した政府のガイドライン（Decree No 59、10.3）により、法定資本金を超えた借入ができないことになったが、大規模投資を必要とする電力部門等の反対に遭い、一時的に適用が延期されている。
- ・ 96 年から新会計基準が導入され現金主義から発生主義へ変更されたが、勘定科目についても業種毎への区別がなされていない等の問題点が指摘されている。
- ・ 企業は銀行用、税務署用、自分用と二重、三重の帳簿を作成しているとも言われる。監査が強制されていないため、財務諸表の公正さを担保するための監査制度の導入の検討が望まれる。そもそも融資を受けているあるいは融資を受けようとしている企業が効率的に経営されているのかどうか必ずしも明らかでない。
- ・ 法的には国営企業、民間企業、個人に対する差別はないが、①多くの民間企業では 100%相当の預金がなければ LC を発行してもらえない、②民間企業では国営企業と違って建設中のプロジェクト自体を担保として利用できない、③民間企業は国営企業のように国の資産がないのでそれを担保に融資を受けることができない、④民間企業は国営企業のように外資との合弁事業を進める際に自分の土地使用権を活用できないなどと言われ、国営商業銀行には民間企業に対する差別が依然として見られる。

3.3. 取り組むべき課題

3.3.1. 中長期資金の供給

- ・ 銀行、企業からのヒアリングを通じて、企業の中長期資金に対するニーズが高いことが実感されたが、基本的には事業自体の収益性が低い、あるいは事業の収益性が良くても企業側に担保がない事が中長期融資を受けられない大きな理由となっている。これ以外の理由として、不良債権問題の深刻化を背景とした貸出姿勢の弱さ、顧客情報や業界データ不足による信用調査の不十分さ、長期設備資金に関する審査ノウハウの不足、融資金利の高水準、顧客に対する融資規制（自己資本の 10%以下等）と言った点も指摘されている。
- ・ 1996 年第 4 四半期には、国の経済発展のために、動員した短期資金の 20%までを中期融資に向けるよう政府のガイドラインが出されたことを受けて、96 年 9 月に中央銀行総裁からいくつかの指示（No12/CT-NH14）が出されている。この中期融資の対象となるのは、政府から割り当てられたプロジェクト（約 2,000~3,000 billion VND）や銀行が自ら選択したプロジェクトであり、政府の指定リストに載っているプロジェクトに対しては、1.1%/月を超える分の金利差額は MOF (Ministry of Finance) から補填される。このガイドラインに基づいて行なわれる中期融資は信用枠（credit ceiling）の対象とならない。さらに、97 年中に中長期転換比率を 30%に引き上げる計画とも聞いている。

- ・企業の強い中長期資金ニーズに対応するために、銀行側でも満期の異なる短期資金をプールすることによって期間変更を行い長期資金を提供する方法以外に、中長期資金に見合った期間の中長期資金の調達も課題である。中央銀行総裁も、特に中長期資金の資金動因を積極的に拡大するよう指示している(96.6.6)。BIDVでは、インフレが抑制できるようになった93年以降、個人を中心に債券(93年は2年もの中心、94年は5年もの)を発行している。セカンダリー・マーケットがなく流動性がないので、顧客から要求があれば債券を担保に融資をしている。また、外国の機関からの借入(当初は2~3年、最近は5~7年)も行なっている。さらに海外での債券発行を財政省に要求している。7~10年の長期のプロジェクトには長期債(3~5年)を発行して、これを長期に期間転換することを考えている。将来、証券市場の設立により資金動因がより容易になることが期待されている。農業銀行、工商銀行でも1、2年の中期債券を一部発行しているが、他の地方の銀行では債券は殆ど発行されていない。

3.3.2.審査能力の向上

- ・国営商業銀行は中央銀行総裁が定めるガイドラインに従って融資手続を行なう。融資、金利等についての主要な銀行規則の概要が参考資料2に掲載されているので参照されたい。国営商業銀行の審査手法は、基本的に①借入人の法的地位、投資計画についての関係当局承認などの書類審査、②市場性評価、技術評価、プロジェクト収支予測、社会的効果の検討を含めたプロジェクト評価、③負債比率、利払能力などの財務状況把握、④融資金額と融資期間の決定の4つのステップからなっている。
- ・日本開発銀行によって実施されたヴィエトナムの国有商業銀行等に対する審査研修によれば、金融機関の審査の現状は、①審査というよりも貸出に関する中銀規則、特に担保に関する規則が貸出にネガティブに働いていること、また、②従来より投資開発銀行ではいわゆるプロジェクト審査は行なわれていたが、市場原理に基づく金融が開始され、企業の返済能力を審査する必要が出てきたのはつい最近で、審査経験は浅く、結局のところ、担保融資に帰着しているようである。
- ・96年8月には担保等に関する規則が制定されているが、一般的に、土地や建物を担保に取っても、これを実際に処分するのが困難と言われる。さらに、国営企業の担保資産は国の資産であるため、国営企業が資金を返済できない時にはどうやって処分するのか、現行規則では明らかでないとの声を聞いている。
- ・さらに、例えばプロジェクトが良好であっても、企業は賄賂を提供しないと銀行からは融資を受けられないケースがあると聞いている。これは、融資は恵みであると言う計画経済の考え方が銀行の一部に依然として存在していることを物語るものである。

3.3.3.不良債権の低減

- ・延滞債権が増え、多くが回収不能となる不良債権が増えているという認識の下、96年11月に中央銀行総裁は、延滞債権を①延滞期間が6ヶ月未満の通常の延滞債権、②延滞期間が6~12月のdebts in question、③延滞期間が12月超のbad debt等に区分し、適切な債権の回収処理方を進め、その進展状況を毎月報告する、現行の融資体制を再度チェックする、融資の審査は2段階で行なう等の対応策を指示している。
- ・延滞債権が増えている理由として、①多くの金融機関では融資に関する規則が厳しく守られていない(融資条件を完全に満たしていない顧客に融資している、融資プロジェクトの評価が包括的でない、利益だけを考え融資の質を考えていない、顧客、特に複数の銀行から融資を受けている顧客の情報を完全に把握していない、協調融資をする際に金融機関同士での情報交換が欠けている等)、②多くの金融機関では融資体制が重要視されておらず、不適確な人たちが割り当てられている、③中央銀行の検査、金融機関自体の検査は強化されてきたが、多くの場所では検査が十分に行なわれていない等が指摘されている。さらに、国営銀行には国営企業が倒産しそうになったら政府が国営企業を助けてくれるという意識が強く、国営企

業を信頼しすぎた面がある。1年程前はTBの金利が年20%と高かったために、多くの金融機関ではリスクの高い企業融資を避けてTBを購入していたが、現在、TBの金利は約8%にまで低下してきており、TB購入のメリットは少ない。

- ・前にも見たとおり、国営商業銀行による融資審査が十分でない。今後、銀行の審査能力を向上させることによって不良債券の発生を防止していくことが重要な課題である。

4.預金から融資への流れ

金融機関の支店網を通じて、ヴェトナムの個人、法人から銀行預金の形で動員された資金は、どのようなルートで資金を必要としている法人、個人に対して資金が流れていくのか。以下では、ヴェトナムの南部地域、中部地域の中心都市であるホーチミン市、ダナン市における金融動向、国営商業銀行の本支店間での資金移転、主な銀行間での資金移転について概観する。

4.1.ホーチミン市における金融動向

4.1.1.主な金融機関

ホーチミン市はヴェトナム最大の都市で、工業、貿易、サービス産業等が盛んである。ホーチミン市には、4国営商業銀行支店、18株式銀行があり、中央銀行が管轄している。さらに19の外国銀行があるが、ハノイの中央銀行本店で管轄されている。中央銀行ホーチミン支店はホーチミン市だけを管轄。ハノイ本店で南部地域経済全体を見ており、同ホーチミン支店は南部のセンター的機能を果たしているわけではない。中央銀行ホーチミン支店からは主に株式銀行への融資が行われているが、期間は一ヶ月程度と短い。国営商業銀行への融資はハノイ本店から行われている。また、1988年以前は商業銀行が存在しなかったため、中央銀行から国営企業への融資が行われていたが、現在は行われていない。ホーチミン市での資金需要は大きく、常に、北部、中部から資金が流入している。

4.1.2.預金、融資の動向

預金は95年は30%増加。96年は4度の金利引下にもかかわらず33%増加している。預金のシェアは家計38%、企業37%、外国企業等15%である。庶民は金利に感応的であり、金利引下の前に預金を付け替える。融資も伸びている。具体的には、鉱工業が17%、輸出入関連が30%、農業が12.5%増加している。中長期資金に対するニーズは強く、動員された短期資金25 billion ドンの20%を中長期資金に向けるよう指示されているが、それでも足りない。しかし、実際には、中長期の融資比率は15.7%に留まっている。中長期融資が伸びなかった理由は、相応しいプロジェクトがなかったためである。資金需要は旺盛であるが、事業からの収益性が低い場合や、また、事業の収益性が高くても担保を持たない場合が多く、銀行側に貸し渋りが見られる。昨年、LCや担保に関する規則が強化されたために、不良債権比率は減少してきてはいるが、他方、多くの企業では資金不足の問題に直面している。

(預金、融資の残高/中銀ヒアリング：単位 billion VND)				
	預金残高		融資残高	
	1995年	1996年	1995年	1996年
農業銀行	626	1,263	266	402
工商銀行	4,684	4,782	3,062	5,469
外国貿易銀行	4,513	4,128	1,950	1,608
投資開発銀行	628	707	1,117	1,100
株式銀行	6,295	6,993	4,999	7,789
外国銀行	1,750	2,233	1,811	4,644

4.1.3. 国営商業銀行支店の状況

農業銀行ホーチミン支店 南部地区センター

農業銀行南部地域センターの傘下には、23省毎 (province) に1支店、各地域 (district) に1支店、その下に transaction office がある。農業銀行全体の資金はハノイ本店で管理されており、4半期毎に各支店の予算が決められている。傘下の支店には、当センターを經由して本店から資金が送られる。南部地域では資金が不足しており、北部から資金が送られている。ホーチミン支店だけでも資金が不足している。この理由は、南部では農業生産が発達しており、資金需要が大きいからである。当センターは農業銀行の南部地域における国際決済の唯一の窓口であり、農業銀行全体の決済の70%を占めている。そのため、外貨は外国銀行のクレジット・ラインにより直接、資金を借りることができる。融資顧客の7~8割が農家で、融資は短期でありロールオーバーが行われている。農業の規模は小さく、銀行から見て中長期資金を融資できるような相応しいプロジェクトは殆どない。

外国貿易銀行ホーチミン支店

昨年の融資の伸びは低かった。3年前とは違い今の信用枠は大きいので、その範囲内で融資が可能である。ホーチミン支店は外国貿易銀行内の45%のシェアを占めており、余剰資金の運用は独自の判断で行なわれる。ホーチミンの株式銀行や他の支店に貸したり、ホノイ本店に送金している。他の支店のように余剰資金を本店に送金するよう要求されてはいない。資金需要は急速に増加しているが、融資は非常にリスクな状況にある。

投資開発銀行ホーチミン支店

ホーチミン支店は南部のセンター的機能を果たしているのではなく、基本的に他の支店と同等である。短期資金はホーチミン市で調達しているが、長期資金は本店から借り入れている。短期資金は余剰であり、他の支店に直接貸している。中長期資金の需要は強いが、相手先企業の自己資本比率が低く融資できない。

4.2. ダナン市における金融動向

4.2.1. 主な金融機関

ダナン地区の主要産業は農業、水産業、水産加工業、観光業である。一時産品加工以外の製造業として鉄製品、セメント、ガラス、繊維製品等があるが、いずれも古く産業としては小規模である。97年にカンナム省とダナン省に分割。ダナン市には、4国営商業銀行支店、1株式銀行、ダナンに本店のない株式銀行の5支店、1合弁銀行支店、貧民銀行、3人民信用基金 (PCF) がある。ダナン地区の銀行セクター全体では預金<融資であり、資金はハノイから移転されている。ローカルのインターバンク市場も存在せず、また、南部との間の直接の資金移転もなく、各銀行とも本支店間の資金移転を通じて資金の過不足を解消している。農業銀行ダナン支店 (中部地区

センター)には中部地区の資金移転機能があり、都市部での預金吸収、農村部での融資という資金フローが見られる。

4.2.2. 預金、融資の動向

4 国営商業銀行の預金は 95 年に比べて 68%増加。企業の預金が増加している模様。昨年金利低下も預金に大きな影響は出ていない。農業銀行では預金が 60%増加したが、これには工商銀行、外国貿易銀行が融資先がなくて預金の受入を制限したことも起因しているとの情報も得られた。96 年の銀行融資の伸び率は農銀の 50%を除くと 20%程度であり、中央銀行の信用枠規制は問題とはならなかった。農業銀行では融資が 50%増加したが、これにはオートバイ等の消費財購入ローンが寄与している。総じて慎重な融資姿勢が見られるが、これにより、延滞比率を比較的強く押さえていることもある。農業セクターを除き資金需要はあまり旺盛とは言えず、この要因の一つには金利水準が依然高すぎて需要を抑制していることが考えられる。融資可能な資金需要の一巡も考えられる。融資と預金の利鞘を 0.35%にまで抑えるという中央銀行の規制は、コストの低い資金の調達に困難になる、銀行活動の柔軟性を奪う等の問題点も聞かれた。中長期資金は不足しており、実態的には政府関連(認可)プロジェクト貸出に限定されている模様。投資開発銀行は他行との競争のため融資上限金利を適用していないとコメントしている。政府が短期預金の 20%を中長期資金に回すように指示しており、実際、中長期資金は増加しているがそれでも足りない。

(預金、融資の残高/1996年末、中銀ヒアリング)

	預金残高 (うち外貨)		融資残高
農業銀行	409	billion VND (1)	416 billion VND
工商銀行	500	billion VND (6)	371 billion VND
投資開発銀行	377	billion VND (5)	857 billion VND
外国貿易銀行	327	billion VND (151)	315 billion VND

4.3. 国営商業銀行内での資金移転

ヴェトナム国内に支店網を持つ国営商業銀行では、各支店で集められた預金はその銀行内部で融資資金として、どのようなルートで資金移転が行なわれているのか。主な国営商業銀行では、以下のとおり銀行内部での資金の過不足を調整している。

農業銀行での全体の資金管理は本店で行なう。南部地域では農業生産が発達しており資金需要が大きい。基本的に南部地域では資金が不足しており、北部から資金が送られている。農業銀行ダナン支店(中部地区センター)には中部地区の資金移転機能があり、都市部で動員した預金を農村部への融資に回している。農業銀行(南部地区センター)では、北部から送られる資金を当センターを経由して、傘下の地域(23province等)に回している。当センターは国際決済の窓口であり、外貨については外国の銀行より直接借りている。

外国貿易銀行での資金フローは本店、支店の2層レベル。ある支店で資金余剰となれば、本店を経由して、資金を必要とする支店に回される。本店では余剰資金をTBの購入、外国の銀行への外貨預金に充てている。ホーチミン支店は、例外で、他支店とは違い本店に送金するよう要求されておらず、余剰資金は支店独自の判断で運用されている。

投資開発銀行でのホーチミン支店では長期資金は本店から借入、短期資金は直接調達している。短期資金には余剰があり、他支店に直接貸している。

工商銀行ではある支店に余裕資金があれば本店を経由して他の支店に移転される。ホーチミン支店も特別扱いはされていない。本店全体で資金が余剰ならばTBに投資している。

4.4.銀行間での資金移転

銀行の支店間での資金過不足が調整される段階で、銀行全体として資金が不足したり、あるいは反対に資金が過剰になるケースが生じる。こうした場合には、国内のインターバンク場を通じて必要とする資金を調達したり、あるいは反対に余剰資金を供給することにより、銀行間で資金の調整・配分が効率的に行なわれることが望ましい。ヴェトナムでは数年前にドン、ドルのインターバンク市場が設立されているが、銀行などからのヒアリングによれば、以下のとおり、特にドンのインターバンク市場は未成熟な市場で効率的に機能しておらず、さらなる市場の整備が必要と考えられる。

4.4.1.インターバンク・ドン市場

ドンのインターバンク市場は93年7月に設立され、マーケット参加者は当初の11から40(1995年)に増加している。94年の一日当りの平均取引高は400億ドンと規模は小さい。インターバンク市場の金利は基本的には需給関係で決まるが、市場が効率的でないため需給状況が十分に反映されていないようである。インターバンク市場はうまく機能しておらず、96年初旬には多くの銀行では資金が余り、97年には他の銀行に貸出す余裕資金が十分になくだれも借りられない状況にあると言われる。外銀では、ドンのインターマーケット市場は機能していないのでドン預金の調達が難しいようである。

4.4.2.インターバンク外為市場

広範に流通する外貨を正規の外貨管理制度の中に吸収することを目的とした新外為法の施行を契機に、94年10月にインターバンク外為市場がハノイ、ホーチミンにおいて創設された。マーケット参加者は当初23から40(1995年)へと増加している。午前8時頃、中央銀行が公式相場を発表し、インターバンク参加者は各種通信回線を使って、参加行同士で公式相場比上下5%の範囲内で自由に取引ができる。取引額(95%がUSドル)は1日10~25百万ドル(推定)で流動性がなく、まだ初期段階にある。また、Vietcombankが取引の85%を占める。価格の提示も売り買いの両方でなく、片方だけのプライシングとなっているようである。

4.4.3.銀行間での資金移転の特徴

それでは銀行間においてどれくらいの資金移転が行なわれているのか。表5はフローベースではなく、年末時点での資金移転の状況を見たものである。これによれば、以下の特徴が見られる。中央銀行から国営商業銀行への資金供給が行なわれている。特に中央銀行からBIDVに対して長期資金(4,115 billion VND)、農業銀行に対して短期資金(1,464 billion VND)が供給されている。国営商業銀行から外国銀行への資金移転も行なわれている。特に外国貿易銀行では海外の銀行に対する外貨預金が4,998 billion VNDと極めて大きい。これとは反対に、外国銀行から国営商業銀行への資金移転も行なわれている。BIDV、工商銀行では中長期資金の借入が殆どであるのに対して、農業銀行では短期資金の借入が中心である。国営商業銀行と株式銀行(JSB)との間での資金移転は殆ど行なわれておらず、金額も小額である。

5.最後に

以上、銀行の預金、融資の動向について概観してきた。90年以降、銀行セクターの努力の結果、預金残高が着実に増加している。しかし、銀行預金として集められた資金が効率的かつ安全に運用されているといえない状況にあり、金融仲介機関としての機能が十分に果たされていない。企業の中長期資金ニーズは旺盛であるにも拘わらず、そのニーズに十分応えられていない。特に、最近では、不良債権発生に対する2責任を恐れ銀行の企業に対する貸し渋りが顕著になってきている。銀行の融資審査が十分でなく、延滞債券さらには不良債権が発生する可能性が高い。そのため、銀行の審査能力を向上させる取組みが必要である。

また、インターバンク市場が効率的でないため、銀行間での資金移転が不十分で、余剰資金がある銀行から資金を必要としている銀行に資金が円滑に流れるシステムになっておらず、そのための整備が必要である。

さらに、最近、銀行での不正が発覚しており、国営商業銀行等に対する監視が十分行なわれているのか疑問である。銀行に対する国民の信頼を失わないためにも、中央銀行は改めて金融機関の状況を十分に把握し監督を強化する必要がある。

他方、ヴィエトナムの企業自身でも少なからず問題を抱えており、経営の効率化、会計制度、監査制度の整備などの対応も同時に必要である。

表 5 Fund transfer between several banks (as of Dec. 31)(billion VND)

	1991	1992	1993	1994	1995	1996
(From SBV to SOCB)						
From SBV to BIDV	156	1,674	2,703	3,982	4,124	4,115
-Short term	0	0	0	0	0	0
-Medium & long term	156	1,674	2,703	3,982	4,124	4,115
From SBV to Vietcombank	187	130	131	58	88	81
-Short term	187	130	131	58	88	81
-Medium & long term	0	0	0	0	0	0
From SBV to Incombank	1,220	1,183	1,082	1,091	504	440
-Short term	1,220	1,183	1,082	1,091	504	440
-Medium & long term	0	0	0	0	0	0
From SBV to Agribank	2,070	2,094	2,696	2,723	1,042	1,464
-Short term	2,070	2,094	2,696	2,723	1,042	1,464
-Medium & long term	0	0	0	0	0	0
(From SOCB to foreign banks)						
From BIDV to FB	0	0	106	77	161	275
From Vietcombank to FB	8,944	8,062	4,527	4,175	4,716	4,998
From Incombank to FB	0	0	0	0	0	0
From Agribank to FB	0	0	34	133	370	451
(From foreign banks to SOCB)						
From FB to BIDV	0	0	618	1,159	1,373	1,370
-Short term	0	0	0	59	35	131
-Medium & long term	0	0	618	1,100	1,338	1,239
From FB to Vietcombank	0	0	108	454	543	380
-Short term	0	0	0	454	543	380
-Medium & long term	0	0	108	0	0	0
From FB to Incombank	0	0	209	168	802	802
-Short term	0	0	0	22	243	243
-Medium & long term	0	0	209	146	559	559
From FB to Agribank	0	0	180	234	632	1,229
-Short term	0	0	0	234	632	995
-Medium & long term	0	0	108	0	0	334
(From SOCB to joint-stock banks)						
From BIDV to JSB	0	0	0	0	0	0
From Vietcombank to JSB	0	0	0	0	0	0
From Incombank to JSB	0	0	0	0	0	0
From Agribank to JSB	0	0	0	0	0	0
(From joint-stock banks to SOCB)						
From JSB to BIDV	0	0	0	0	0	0
From JSB to Vietcombank	0	0	0	0	0	0
From JSB to Incombank	0	0	0	0	0	0
From JSB to Agribank	0	0	0	0	0	0

Source: State Bank of Viet Nam

1. Result of State-owned Commercial Bank Depositor Questionnaire

*This survey was conducted to 51 individual depositors of state-owned commercial banks who live in Hanoi and Ho Chi Minh City.

Q1 Compared to 3 years ago, how often do you use now bank services?

1 No use of bank 3 years ago	4	8.0%
2 As often as 3 years ago	14	28.0%
3 More often than 3 years ago	29	58.0%
4 Less often than 3 years ago	3	6.0%
No response	1	
Total effective answer	50	100.0%

Q2 Compared to 3 years ago, how much has your outstanding deposit increased?

1 Considerably	14	27.5%
2 Some	25	49.0%
3 No change	5	9.8%
4 On the contrary, decreased	7	13.7%
No response	0	
Total effective answer	51	100.0%

Q3 What percentage of your annual income do you invest in bank deposits?

1 Less than 5%	5	10.4%
2 About 5%	2	4.2%
3 About 10%	16	33.3%
4 About 20%	7	14.6%
5 About 30%	6	12.5%
6 About 40%	4	8.3%
7 About 50%	5	10.4%
8 More than 50%	3	6.3%
No response	3	
Total effective answer	48	100.0%

Q4 What percentage of total financial assets (gold, cash, dollars and deposits) do you invest in bank deposits?

1 Less than 5%	2	4.3%
2 About 5%	4	8.7%
3 About 10%	9	19.6%
4 About 20%	5	10.9%
5 About 30%	6	13.0%
6 About 40%	6	13.0%
7 About 50%	3	6.5%
8 More than 50%	11	23.9%
No response	5	
Total effective answer	46	100.0%

Q5 If you have enough money, which financial asset do you most invest in? (MA)

1 Gold	8	15.7%
2 Dong deposit	23	45.1%
3 Dollar deposit	11	21.6%
4 Keep cash as dong	12	23.5%
5 Keep cash as dollars	6	11.8%
6 Other	10	19.6%
No response	0	
Total effective answer	51	100.0%

Q6 Which two factors do you generally think to be important when you select financial assets? (MA)

1 Hedging of its value against inflation	20	39.2%
2 Profitability	33	64.7%
3 Safety of funds	31	60.8%
4 Capital gains	8	15.7%
5 Convertibility to cash	6	11.8%
6 Confidentiality from tax authorities	1	2.0%
7 Close distance from a branch	1	2.0%
No response	0	
Total effective answer	51	100.0%

Q7 What is a bank that you can easily access from your house by bicycle or by foot? (MA)

1 Agribank	14	27.5%
2 Incombank	33	64.7%
3 Vietcombank	13	25.5%
4 BIDB	4	7.8%
5 Joint stock bank	10	19.6%
6 Foreign bank	2	3.9%
7 Credit cooperative	0	0.0%
8 People's credit fund	1	2.0%
No response	0	
Total effective answer	51	100.0%

Q8 What are the major reasons for selecting the bank that you use? (MA)

1 High reliability due to being a SOCB	39	76.5%
2 Near my house or my place of work	16	31.4%
3 safety of principle and interest	22	43.1%
4 Higher interest rates	17	33.3%
5 Dangerous to keep money at hand	7	13.7%
6 Repeat visits by bank employees	3	5.9%
7 Many branches	10	19.6%
8 Attentive service of bank employees	12	23.5%
9 Ease of borrowing money if necessary	8	15.7%
No response	0	
Total effective answer	51	100.0%

Q9 How often do you use a bank?

1 Never	2	4.2%
2 Seldom	17	35.4%
3 Once in a month	13	27.1%
4 Twice in a month	6	12.5%
5 More than twice in a month	10	20.8%
No response	3	
Total effective answer	48	100.0%

Q10 What kind of bank service do you use? (MA)

1 Demand deposit	19	41.3%
2 Time deposit (Dong)	25	54.3%
3 Time deposit (Dollar)	6	13.0%
4 Bond	6	13.0%
5 Borrowing	11	23.9%
No response	5	
Total effective answer	46	100.0%

Q11 How often have bank employees visited your house or place of work within the recent 6 months?

1 Never	39	81.3%
2 Seldom	8	16.7%
3 Once in a month	1	2.1%
4 Twice in a month	0	0.0%
5 More than twice in a month	0	0.0%
No response	3	
Total effective answer	48	100.0%

Q12 Are you satisfied with the bank that you use?

1 Very satisfied	10	20.0%
2 Satisfied	36	72.0%
3 Unsatisfied	4	8.0%
No response	1	
Total effective answer	50	100.0%

Q13 With which points are you satisfied with the bank? (MA)

1 Friendly response	16	34.0%
2 Fast, efficient service	21	44.7%
3 Long operating time	2	4.3%
4 High interest rates	17	36.2%
5 Knowledgeable staff	7	14.9%
6 Simple procedures	7	14.9%
7 Nice atmosphere	9	19.1%
8 Low service fees	0	0.0%

9 Many branches	13	27.7%
10 Frequent visits by bank employees	2	4.3%
No response	4	
Total effective answer	47	100.0%

Q14 With which points would you expect bank services to be improved? (MA)

1 An impolite employee	12	25.0%
2 Slow service	12	25.0%
3 Short operating time	9	18.8%
4 Low interest rates	9	18.8%
5 Incompetent staff	8	16.7%
6 Complicated procedures	24	50.0%
7 Crowded lobby	2	4.2%
8 High service fees	9	18.8%
9 Long waiting time for withdrawing money	17	35.4%
10 Few new goods and services	9	18.8%
11 Few ATMs	2	4.2%
12 No disclosure of the bank management	5	10.4%
13 Frequent inquiry as to source of money	1	2.1%
No response	3	
Total effective answer	48	100.0%

Q15 Compared to 3 years ago, have bank services been improved?

1 Highly improved	10	19.6%
2 Improved	39	76.5%
3 No change	1	2.0%
4 Unimproved	1	2.0%
No response	0	
Total effective answer	51	100.0%

Q16 What impression do you think the general public has of a bank?

1 Highly reliable	7	14.0%
2 Reliable	43	86.0%
3 Not so reliable	0	0.0%
No response	1	
Total effective answer	50	100.0%

Q17 Compared to 3 years ago, has the trust of the general public to a bank do you think been improved?

1 Highly improved	10	20.4%
2 Improved	33	67.3%
3 No change	3	6.1%
4 Unimproved	3	6.1%
No response	2	

Total effective answer	49	100.0%
------------------------	----	--------

Q18 Do you think an inflation will again emerge in the near future?

1 Yes	12	25.5%
2 No	13	27.7%
3 I don't know	22	46.8%
No response	4	
Total effective answer	47	100.0%

Q19 Is a post office closer to your home or work place compared to a bank?

1 Yes	6	40.0%
2 Same distance	3	20.0%
3 No	6	40.0%
No response	36	
Total effective answer	15	100.0%

Q20 How often do you use postal services?

1 No use	7	50.0%
2 Seldom	5	35.7%
3 Once in a month	1	7.1%
4 Twice in a month	0	0.0%
5 More than twice in a month	1	7.1%
No response	37	
Total effective answer	14	100.0%

Q21 Are you satisfied with postal services?

1 Very satisfied	0	0.0%
2 Satisfied	10	90.9%
3 Unsatisfied	1	9.1%
No response	40	
Total effective answer	11	100.0%

Q22 If post offices provide banking services such as deposit taking activity, what would you think of the service?

1 I would like to use it as well as bank services.	4	25.0%
2 I would not use it because bank services are more convenient.	2	12.5%
3 I don't know.	10	62.5%
No response	35	
Total effective answer	16	100.0%

Q23 If a bank provides medium- and long-term deposits with terms of 1 to 3 years, what would you think of the services?

1 I would like to make that deposit, because there	1	2.2%
--	---	------

has not previously been such a deposit.		
2 I would like to make that deposit, if the interest rate is higher than that of a short-term deposit.	25	55.6%
3 I would not make that deposit, because we have experienced high inflation.	8	17.8%
4 I don't know.	11	24.4%
No response	6	
Total effective answer	45	100.0%

Q24 If a bank provides medium- and long-term bonds with maturity of 1 to 3 years, what would you think of the bond?

1 I would like to buy that bond, because there has not previously been such a bond.	1	2.3%
2 I would like to buy that bond, if the interest rate is higher than that of a short-term bond.	11	25.0%
3 I would like to buy that bond, if the bond is easily changeable for cash.	21	47.7%
4 I would not buy that bond, because we have experienced high inflation.	3	6.8%
5 I don't know.	8	18.2%
No response	7	
Total effective answer	44	100.0%

Q25 What is your profession?

1 Public servant	14	29.2%
2 Work for a state enterprise	13	27.1%
3 Work for a private enterprise	9	18.8%
4 Work for an independent enterprise	1	2.1%
5 Merchant	8	16.7%
6 Farmer	0	0.0%
7 Other	3	6.3%
No response	3	
Total effective answer	48	100.0%

Q26 How old are you?

1 Twenties	3	6.4%
2 Thirties	13	27.7%
3 Forties	17	36.2%
4 fifties	12	25.5%
5 sixties	1	2.1%
6 Seventies	0	0.0%
7 Eighties	0	0.0%
8 Other	1	2.1%
No response	4	

Total effective answer	47	100.0%
------------------------	----	--------

Q27 Where do you live?

1 Hanoi	23	47.9%
2 HCM City	25	52.1%
No response	3	
Total effective answer	48	100.0%

2. Major Banking Regulations Concerning Deposits and Loans

(1) Deposit

- Customer deposits must be less than 20 times of the allocated capital and reserves.
 - ◇ Ordinance on banks, credit cooperatives and finance companies (1990), § 23.
- Foreign bank branches and joint-venture banks are not allowed to receive more than 20% of their share capital in the form of VND deposits from Vietnamese individuals and corporations that have no credit relationship with the banks.
 - ◇ Decision No.174/QD – NH5 (August 26, 1994).

(2) Loan

1) Limit of loan

- The total amount of loans to a single customer must not exceed 10% of the capital and reserves.
 - ◇ Ordinance on banks, credit cooperatives and finance companies (1990), § 25.
- The total amount of loans to the top ten customers must not exceed 30% of total loans.
 - ◇ Ordinance on banks, credit cooperatives and finance companies (1990), § 25.
- The loan must be used for the registered purpose as stated in the loan proposal and effectively.
 - ◇ Decision No.198/QD – NH1 (September 16, 1996) and Regulation on short-term credit for economic organizations § 3-3.
 - ◇ Decision No.367/QD – NH1 (December 21, 1995) and Regulation on medium- and long-term credit § 6-1.

2) Short-term loan

- Short-term credit in VND for economic organizations
 - ① Maximum term is 1 year (§ 9).
 - ② Short-term loan is provided to meet shortage in floating capital for production business operation (§ 2).
 - ③ Main loan conditions are as follows (§ 4):
 - i) Each borrower has full legal status and operates its production business.
 - ii) Each borrower operates profit yielding business or is subsidized in accordance with government policy.
 - iii) Each borrower has self possessed capital.
 - iv) Each borrower has collateral properties or guaranteed by third party.
 - ◇ Decision No.198/QD – NH1 (September 16, 1996) and Regulation on short-term credit for economic organizations.

3) Medium / long-term loan

- Medium / long-term loan in VND and foreign currency
 - ① Medium term is between 1 year and 3 years (§ 1-7).
 - ② Long term is more than 3 years (§ 1-7).
 - ③ Medium / long-term loan is provided so that each borrower can invest in its project to build, expand, reform, restore and renovate know-how and technology (§ 4).
 - ④ Capital sources of banks for medium & long term loan are as follows (§ 3):
 - i) Available capital and reserve funds
 - ii) mobilized capital and the capital borrowed domestically and abroad of a term of 1 year or more.

- iii) A part of domestically mobilized capital with a term of under 1 year, regulated by SBV for each period of time.
- iv) Commissioned and sponsored capital under the program or investment projects of the State.
- ⑤ Main loan conditions are as follows (§ 7):
 - i) Each borrower enjoys juridical status.
 - ii) Each borrower produces, does business beneficially.
 - iii) Each borrower has certain available capital for the project.
 - iv) Each borrower has mortgaged assets or sponsor being a third person.
- ◇ Decision No.367/QD—NH1 (December 21, 1995) and Regulation on medium- and long-term credit.

4) Interest rates

- VND lending maximum rates are as follows:
 - i) Short term rate is 1.25% per month.
 - ii) Medium & long term is 1.35% per month.
 - iii) Lending rate by Credit institutions to rural areas is 1.5% per month.
 - iv) Lending rate by Credit cooperatives and People's Credit Fund to their members is 1.8% per month.
 - v) Lending rate by Bank for the Poors to poor households is 1.0% per month.
- ◇ Decision No.266/Q D—NH1 (September 27, 1996)
- The difference between the average lending and deposits rate should not exceed 0.35% per month.
- ◇ Decision No.381/QD—NH1 (December 28, 1995)
- USD lending maximum rate is 9.5% per annum.
- ◇ Decision No. 181/QD—NH1 (June 29, 1995)

5) To increase fund for medium-term loan

- The prime Minister decided to assign the banking branch in the 4th quarter of 1996 to increase fund for medium term loans corresponding to projects, in order to change new equipment, intensive investment, servicing the target of economic development of the country, and to allow the banks to utilize up to 20% of their short-term mobilized fund to have fund for this target.
- ◇ Instruction on increasing fund for medium term loans in the 4th quarter of 1996 as according to the guideline of the government (September 30, 1996).

6) Loan to state-owned enterprises

- State-owned enterprise can mobilize from other sources besides the capital allocated by the Government. Total of the funding mobilization shall not exceed legal capital of the enterprise (§ 11).
- But, this decree is postponed temporarily.
- ◇ Decree No.59—CP (October 3, 1996) issuing on regulation on financial management and accounting of state-owned enterprises and Decision No.6755 (December 31, 1996).

(3) Mortgage

- Maximum loan must be equal 70% of the mortgaged assets.
- ◇ Decision No.217/QD—NH1 (August 17, 1996) and Regulation on mortgaging, pawning and guaranteeing for bank loans § 12.
- Assets to be mortgaged against loans are land use right as regulated by Laws on land and transferable and realizable properties including residence houses, construction works attached with

land, value of insurance policies and business and production entities including factories, hotels, shops, warehouses and tools, machinery and equipment attached with factories, vessels, airplanes, etc.

◇ Decision No.217/QD--NH1 (August 17, 1996) and Regulation on mortgaging, pawning and guaranteeing for bank loans § 5.

- Foreign bank branches and joint-venture banks are not permitted to accept any mortgage on land use right.

◇ Decision No.217/QD--NH1 (August 17, 1996) and Regulation on mortgaging, pawning and guaranteeing for bank loans § 3-2.

(4) Classification of Loan

- Debit balance of loans of credit institutions are divided in groups as follows (§ 4):

① Group A: comprising a) debit balances of loans are still within the limit which the credit institutions assess that the borrowing customer is capable to pay debt fully, in due course as stipulated in the contract of lending and b) debit balances of loans which the borrowing customers have not paid when they are expired, but they are extended by the credit institutions in conformance with current regulations and the borrowing customers are assessed that they are capable to fully pay debt in due course, when the new debt is expired.

② Group B: comprise of debit balances of loans which the borrowing customers are unable to pay part of or entire principal debts, interest within 180 days as from the expired date.

③ Group C: comprise of debit balances of loan which the borrowing customers are unable to pay part of or entire principal debts, interest within the duration from 181 days 360 days, as from the expired date.

④ Group D: comprise of a) debit balances of loans which the borrowing customers are unable to pay part of or entire principal debts, interest after 360 days, as from the expired date and b) debit balances of loans which are in the limit but credit institution has evidences enough to assess that the borrowing customers are unable to pay debt.

◇ Decision No.229/QD--NH5 (November 13, 1996) and Regulation on classifying credit outstandings of credit institutions.

- Classification of overdue loans are as follows:

i) Overdue loan under 6 months is considered as common overdue debts.

ii) Overdue loans from 6 months to 12 months is considered as debts in questions, need to pay attention on.

iii) Overdue loans over 12 months shall be considered as bad debts, it's required to divide into doubtful debts subject to objective and subject causes.

iv) Debts that are circumscribed in conformance with the regulation.

◇ Instruction No.14/CT--NH1 (November 21, 1996) on implementing urgent measures to ensure the quality of banking credit operations.

(5) Letter of Credit

- L/C may only be issued if the applicant keeps VND and foreign currency accounts with the bank.

- Deposit in case of deferred payment L/C less than 1 year

① Bank must obtain 80% deposits from the applicant in case the LC is issued in relation to the import of consumer goods and other locally made commodities which are used mainly for consumption are to be discouraged for import.

② Banks can decide a special deposit volume in case the L/C is issued in the relation to the import

of materials such as fertilizers, gas, cement, iron and steel and steel.

- Bank must file monthly reports to SBV regarding the L/C issued in the previous month by the next month.
 - Banks must report L/C for amounts in excess of USD 500,000 to SBV one day after L/C is issued.
 - Banks must file reports to SBV by the next day of the due or the repayment in the case that deferred L/C is are overdue or paid up to overseas by the banks.
- ◇ Circular 06/NH7-CT (June 6, 1996) and Guidance for the circular (No.434/CV-NH7).

